

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド

この取扱説明書は、次の内容を記載してあります。

内容物の確認

CS-6000N、プリンタ、スキャナのセットアップのしかた

セットアップを代理店に依頼される場合は、この取扱説明書をお読みになる必要はありません。

ユーザーズガイド

CS-6000Nの取扱説明書です。CS-6000N、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困った時の対処について説明しています。

原稿の向きとコピーの向き(早見表)

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。

ネットワーク操作ガイド

ネットワーク上のパソコンから、スキャナを使用する手順について説明している取扱説明書です。

ネットワーク構築ガイド(本書)

ネットワークの構築に関する、ネットワーク管理者用の取扱説明書です。

本書は、LAN上でCS-6000Nを使用するために、ネットワーク管理者が行う環境設定について説明するものです。

CS-6000Nを設置したら、ネットワーク管理者はまず本書をお読みになり、CS-6000Nの初期設定をしてください。

Microsoft、Windows、WindowsNT、Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple の名称、Macintosh、漢字 Talk、MacOS、AppleTalk は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。

Novell は米国ノベル社の登録商標です。

NetWare、IntranetWare は米国ノベル社の米国での登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品はお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

CS-6000N で利用できる
機能を紹介します。

ネットワーク環境で利用できる機能

CS-6000N のネットワー
ク構築作業の流れを説
明します。

作業の流れ

CS-6000N の基本設定を
説明します。

準備作業

WindowsNT での、サーバ
スキャンの設定手順を
説明します。

サーバスキャンの設定 (WindowsNT)

NetWare での、サーバ
スキャンの設定手順を
説明します。

サーバスキャンの設定 (NetWare)

各種設定と、困ったと
きの対処方法を説明し
ます。

付録

目次

| | |
|--|--------------------------------------|
| ネットワーク環境で利用できる機能 | サーバスキャンの設定 (WindowsNT) |
| ネットワークスキャン 1-2 | ソフトウェアについて 4-2 |
| サーバスキャン 1-2 | サーバスキャンの使用 / 不使用の設定 .. 4-3 |
| カラーコピーシステムの状態確認 1-3 | 共有フォルダの作成 4-6 |
| WebAdmin について 1-4 | ファイルサーバへのユーザ登録 4-8 |
| WebAdmin の動作環境 1-4 | Management Consoleのインストール 4-10 |
| WebAdmin 使用上の注意 1-6 | 新規スキャナ設定 4-11 |
| 作業の流れ | Management Console の起動 4-11 |
| 準備作業 2-2 | ネットワークスキャナの新規登録 ... 4-12 |
| サーバスキャンを行う場合 2-3 | ネットワークスキャナの ユーザ情報登録 4-17 |
| 準備作業 | ネットワークスキャナ情報の変更 4-21 |
| CS-6000N、スキャナ、プリンタの接続 3-2 | 情報画面の表示 4-21 |
| OS への TCP/IP の組み込みと設定 3-3 | ユーザ情報の追加・変更・削除 ... 4-23 |
| Windows95/98 3-3 | ネットワークスキャナ情報の変更 ... 4-25 |
| WindowsNT4.0 3-4 | ネットワークスキャナの設定チェック 4-26 |
| WindowsNT3.51 3-5 | サーバスキャン設定の削除 4-27 |
| Macintosh(Open Transport 使用) 3-6 | 通常の削除方法 4-27 |
| Macintosh(旧ネットワークソフト使用) 3-7 | エラーメッセージが表示された場合の 削除方法 4-29 |
| CS-6000N の IP アドレス設定 3-8 | |
| CS-6000N 操作パネルからの設定 3-8 | |
| CS-6000N と管理者情報の設定 ... 3-11 | |

| | |
|--|---------------------------------|
| サーバスキャンの設定 (NetWare) | 付録 |
| ソフトウェアについて 5-2 | 工場出荷時設定に戻す 付 -2 |
| サーバスキャンの使用 / 不使用の設定 . . . 5-3 | EPSON ESPER Stationページについて付 -3 |
| Novell Client のインストール . . . 5-6 | オフィス機器の登録 付 -4 |
| ファイルサーバへのユーザ登録 . 5-7 | プリンタの初期設定 付 -8 |
| NetWare3.xJ 5-7 | IPアドレスの変更 (WebAdminから) . 付 -10 |
| NetWare4.1xJ/5J、IntranetWare-J 5-8 | WebAdmin で使用可能な文字 付 -13 |
| Management Consoleのインストール . 5-10 | 困ったときは 付 -14 |
| 新規スキャナ設定 5-11 | 準備作業 付 -14 |
| Management Console の起動 5-11 | ネットワークスキャン 付 -15 |
| ネットワークスキャナの新規登録 5-12 | サーバスキャン 付 -16 |
| ネットワークスキャナの | その他 付 -19 |
| ユーザ情報登録 5-18 | 索引 付 -20 |
| ネットワークスキャナ情報の変更 . . 5-22 | |
| 情報画面の表示 5-22 | |
| ユーザ情報の追加・変更・削除 . . . 5-24 | |
| ネットワークスキャナ情報の変更 . . . 5-26 | |
| ネットワークスキャナの設定チェック 5-27 | |
| サーバスキャン設定の削除 5-28 | |
| 通常の削除方法 5-28 | |
| エラーメッセージが表示された場合の | |
| 削除方法 5-30 | |

本文中のマークと表記について

マークがついている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。



お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。
必ずお読みください。

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版 の表記について
Microsoft® WindowsNT® Operating System 日本語版

本書中では、上記オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT の総称として「Windows」と表記する場合があります。

本書中のWindows95、Windows98、WindowsNT については、すべて Intel 版を対象としています。

ネットワーク環境で利用できる機能

ネットワーク環境で利用できる機能の概要を説明します。各機能をご使用になるには、本書をご覧になり、ネットワーク環境を設定する必要があります。これらのネットワーク機能は、サーバスキャンを除いて、ルータを越えたセグメントで利用することもできます。ただしネットワーク環境とデータ量によってはネットワークの負荷が増加し、不具合が起こる可能性があります。この章にある「データ容量について」を参考に、ご利用のネットワーク環境にあった解像度・色数でお使いください。実際のスキャン、プリント方法は、「ネットワーク操作ガイド」をご覧ください。

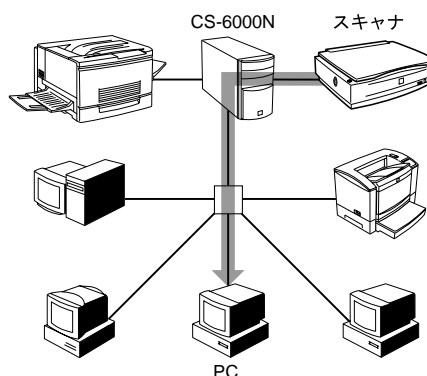
| | |
|-----------------|---------|
| ネットワークスキャン | 1-2 ページ |
| サーバスキャン | 1-2 ページ |
| カラーコピーシステムの状態確認 | 1-3 ページ |
| WebAdmin について | 1-4 ページ |

ネットワークスキャン

CS-6000N に接続されているスキャナから、クライアントマシンに画像を取り込むことができます。

CS-6000N の IP アドレスを設定するだけで使用できます。

クライアントマシンのシステム条件や、クライアントマシンにインストールが必要なソフトウェアについては、ネットワーク操作ガイドの「ソフトウェアのインストール」をご覧ください。



データ容量について

ネットワークスキャンでは、ユーザの設定によっては膨大な量のデータがネットワーク上に流れます（例：A3、360dpi、24bit カラーで約 78MB）。必要に応じて解像度、色数を変更してください。

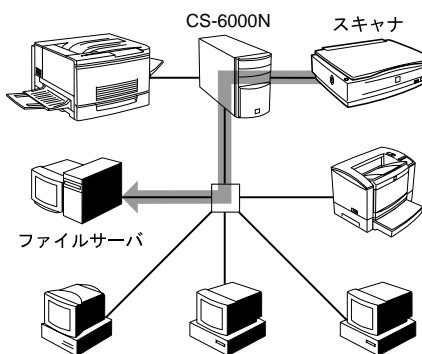
データ容量の詳細は「ネットワーク操作ガイド（24 ページ）」をご覧ください。

サーバスキャン

CS-6000N に接続されているスキャナから取り込んだ画像データを、ファイルサーバに保存する機能です。

ファイルサーバの対応 OS

| 対応 OS | プロトコル |
|--|--------|
| WindowsNT3.51/4.0 Server | TCP/IP |
| NetWare3.12J/3.2J/4.1xJ /5J、IntranetWare-J | IPX |



- WindowsNT4.0 にはサービスパック 3 以上を、WindowsNT3.51 にはサービスパック 5 以上を導入してください。
- Macintosh では、サーバスキャンした画像を開くことはできません。
- CS-6000N とファイルサーバの間にルータがあると、サーバスキャンが行えません。

データ容量について

サーバスキャンでは、スキャンの設定によってデータ容量が大きく異なります。ユーザの設定によっては膨大な量のデータがネットワーク上に流れます。必要に応じて解像度・色数を変更してください。

また、ファイルサーバのディスク容量にもご注意ください。

| スキャン設定/原稿サイズ | | A4 | A3 |
|--------------|------------|---------|---------|
| 360dpi | カラー (JPEG) | 約 2MB | 約 4MB |
| | カラー写真 | 約 36MB | 約 72MB |
| | グレイ (JPEG) | 約 0.6MB | 約 1.2MB |
| | グレイスケール | 約 12MB | 約 24MB |
| 800dpi | カラー (JPEG) | 約 9MB | 約 18MB |
| | カラー写真 | 約 177MB | 約 354MB |
| | グレイ (JPEG) | 約 3MB | 約 6MB |
| | グレイスケール | 約 59MB | 約 118MB |

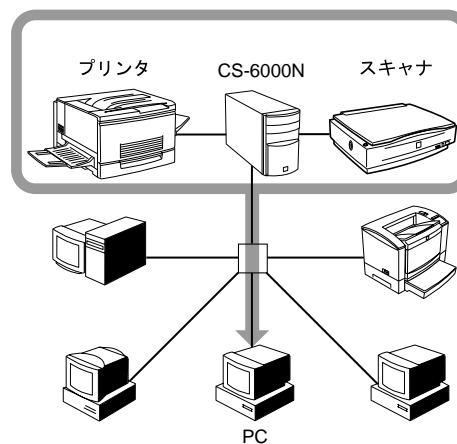
スキャナに ES-8000 を使用している場合、原稿サイズで A3W (ノビ) を指定しても自動的に A3 に変換されます。また、スキャン設定で [カラー (36)] を指定しても自動的に [カラー写真] に変換されます。

カラーコピーシステムの状態確認

クライアントマシンの Web 画面上で CS-6000N および CS-6000N の接続機器の状態を確認できます。

CS-6000N の IP アドレスを設定するだけで使用できます。

クライアントマシンのシステム条件や、クライアントマシンにインストールが必要なソフトウェアについては、ネットワーク操作ガイドの「ソフトウェアのインストール」をご覧ください。



ネットワーク環境で利用できる機能

WebAdmin について

CS-6000N には、CS-6000N のネットワーク情報を設定、管理するプログラム、WebAdmin が内蔵されています。これは、CS-6000N に IP アドレスを設定することで使えます。

WebAdmin の動作環境

ソフトウェア環境

IBM PC-AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ

| OS | Java VM | Web ブラウザ |
|---|-------------------------------------|-------------------------------|
| Microsoft Windows95 日本語版 | Microsoft VM build2424/2436/3167 | Internet Explorer 4.01/5.0 |
| Microsoft Windows98 日本語版 | Microsoft VM build2405/2436/3167 | |
| Microsoft WindowsNT4.0 Workstation 日本語版 (サービスパック 3 以上) | Microsoft VM build2424/2436/3167 | |

Macintosh Power PC

| OS | Java VM | Web ブラウザ |
|-------------|--------------|-------------------------------|
| MacOS7.6.1 | Apple MRJ2.0 | Internet Explorer 4.01/4.5 |
| MacOS8.0 | Apple MRJ2.0 | |
| MacOS8.1 以上 | Apple MRJ2.1 | |

- Microsoft VM build2405 は、Windows98 用 Internet Explorer4.01 に内蔵の Java VM です。build2424 と同等です。
Microsoft VM build3167 は、Internet Explorer5.0 に標準で内蔵されています。
- Java VM のバージョン (build 番号) は、エクスプローラ等で OS がインストールされているドライブから MSJAVA.DLL というファイルを検索し、検索された MSJAVA.DLL ファイルをマウスの右ボタンでクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] - [バージョン番号] をクリックすると確認できます。
ファイルバージョンの最後の 4 桁の数字が、Java VM のバージョンを示します。
Macintosh の場合は、[システムフォルダ] から [機能拡張] - [MRI Libraries] で確認できます。
- MacOS 9 のマルチユーザー環境には対応していません。



Internet Explorer5.0を使用する場合、次の点に注意してください。

- Internet Explorer5.0の場合、[標準インストール]でインストールを行うと、Java VMがインストールされないため、WebAdminが使用できません。
- Internet Explorer5.0をインストールする際には[最小構成インストール、またはブラウザのカスタマイズ]を選択し、[Microsoft Virtual Machine]にチェックを付けて、インストールを行ってください。

ハードウェア環境

CRT 解像度は 800 × 600 以上でお使いください。

| ホスト | OS | 最低(推奨)環境 |
|-----------------------------------|--|---|
| IBM PC-AT 互換機 NEC PC-9821 シリーズ | Microsoft Windows95/98 日本語版 | <ul style="list-style-type: none">• CPU:Pentium133MHz 以上 (Pentium200MHz 以上推奨)• VRAM:2MB 以上 (4MB 以上推奨)• RAM:32MB 以上 (64MB 以上推奨) |
| | Microsoft WindowsNT4.0 Workstation 日本語版 (サービスパック 3 以上) | <ul style="list-style-type: none">• CPU:Pentium200MHz 以上 (Pentium266MHz 以上推奨)• VRAM:2MB 以上 (4MB 以上推奨)• RAM:64MB 以上 (96MB 以上推奨) |
| Macintosh Power PC | MacOS7.6.1/8.0 以上 | <ul style="list-style-type: none">• CPU:PowerPC604 120MHz (Power PC604 200MHz 以上推奨)• VRAM:2MB 以上 (4MB 以上推奨)• RAM:48MB 以上 (64MB 以上推奨)• 仮想メモリ機能を ON にして、80MB 以上を割り当ててください。• ブラウザにできるだけ多くのメモリを割り当ててください。 |

ネットワーク環境で利用できる機能

WebAdmin 使用上の注意

- WebAdmin は Internet Explorer4.01 以上で動作します。Internet Explorer4.01 以上をお持ちでない場合は、CS-6000N ソフトウェア CD-ROM から Internet Explorer5.0 をインストールしてください。詳しくは、CD-ROM の Readme ファイル「はじめにお読みください」をご覧ください。
- WebAdmin を起動するには、Internet Explorer4.01 以上で、CS-6000N の IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしておく必要があります。また、Java の設定に制限があります。詳しくは CS-6000N ソフトウェア CD-ROM の Readme ファイル「はじめにお読みください」をご覧ください。
- WebAdmin を使うときは、他のアプリケーションを終了させてください。
- WebAdmin の設定の更新や、画面の切り替えを繰り返すと、Web ブラウザがリソース不足のため応答しなくなることがありますのでご注意ください。
- Macintosh 上で WebAdmin を起動する場合は、Internet Explorer の [ウィンドウ] メニューを操作しないでください。エラーが起こる可能性があります。
- WebAdmin を使うときは、カラーコピーシステムが動作していないことを確認してください。
コピー、スキャン等の動作中は、WebAdmin からの設定はできません。



WebAdmin 起動時間の短縮について

Windows95/98/NT4.0 で Internet Explorer4.01 以上を使用している場合、WebAdmin を起動して画面が表示されるまでかなりの時間がかかります。アクセス時間を短縮するために、次のいずれかの設定をしてください。

- Windows ディレクトリの hosts ファイルに、CS-6000N の IP アドレスと名称を追加します。名称は 3-13 ページ [メインユニット基本設定] をご覧ください。
- DNS サーバに CS-6000N を登録しておき、アドレスを指定する際にホスト名を使用します。

作業の流れ

管理者は、この章にある手順で CS-6000N の初期設定を行います。



万が一、設定のやり直しなどで工場出荷時設定に戻さなくてはならなくなったときのために、各種設定内容をどこかに記載しておく便利です。

| | |
|--------------|---------|
| 準備作業 | 2-2 ページ |
| サーバスキャンを行う場合 | 2-3 ページ |

準備作業

どの機能を使う場合も、この設定は必ず最初に行ってください。

| | |
|--|---------|
| スキャナ、プリンタの CS-6000N への接続と、CS-6000N のネットワークへの接続 | 3-2 ページ |
|--|---------|

| | |
|-----------------------|---------|
| OS への TCP/IP の組み込みと設定 | 3-3 ページ |
|-----------------------|---------|

| | |
|--|---------|
| CS-6000N の操作パネルで、CS-6000N の IP アドレスを設定 | 3-8 ページ |
|--|---------|

| | |
|--------------------|----------|
| CS-6000N と管理者情報の設定 | 3-11 ページ |
|--------------------|----------|

サーバスキャンを行う場合は、次ページの設定へ進みます。ネットワークスキャンやカラーコピーシステムの状態確認を行う場合、設定はここで終了です。

サーバスキャンを行う場合

WindowsNT をお使いの場合は 4-1 ページを、NetWare をお使いの場合は 5-1 ページをご覧ください。

| | |
|--------------------------------------|---------------|
| WebAdmin で、サーバスキャンの使用 / 不使用を設定 | 4-3/5-3 ページ |
| ファイルサーバにサーバスキャン用の共有フォルダを作成 (NT のみ) | 4-6 ページ |
| Novell Client をインストール (NetWare のみ) | 5-6 ページ |
| ネットワークスキャナを利用するユーザをファイルサーバに登録 | 4-8/5-7 ページ |
| Management Console をインストール | 4-10/5-10 ページ |
| Management Console で、スキャナ情報とユーザ情報を設定 | 4-11/5-11 ページ |



作業の流れ

準備作業

ここでは、CS-6000Nの接続から、ネットワーク上でCS-6000Nを使用するための基本情報設定までを行います。



CS-6000Nのネットワーク機能を利用するためには、ここにある作業を必ず最初に行ってください。

| | |
|-----------------------|----------|
| CS-6000N、スキャナ、プリンタの接続 | 3-2 ページ |
| OS への TCP/IP の組み込みと設定 | 3-3 ページ |
| CS-6000N の IP アドレス設定 | 3-8 ページ |
| CS-6000N と管理者情報の設定 | 3-11 ページ |

CS-6000N、スキャナ、プリンタの接続

CS-6000N をネットワークに接続し、スキャナとプリンタを CS-6000N に接続します。
CS-6000N の電源を入れる前に、動作している HUB と確実に接続してください。



CS-6000N のネットワーク接続について

- CS-6000N の電源を入れたままの状態でもネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の高速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使うことをおすすめします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- CS-6000N は 100BASE-TX/10BASE-T の自動切り替えで動作しますが、HUB との相性で自動切り替えが正常に動作しない場合は、使用する HUB に合わせて、操作パネルで 100BASE-TX または 10BASE-T に固定してお使いください。3-9 ページをご覧ください。
- ネットワークに接続するときは、必ず HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで PC と接続することはできません。
- 一部スイッチング HUB では正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と CS-6000N の間に自動切り替え機能のない HUB を入れる等の方法をお試しください。
- スキャナ機能を多用したり、スキャナから高解像度の画像データを取り込むと、データが膨大となります。CS-6000N 用のネットワークセグメントをほかのセグメントと分けるなど、ネットワークスキャンの使用頻度やデータ容量にあわせたネットワーク環境にしておいてください。
- 100BASE-TX の場合、ネットワークとの接続には、カテゴリ 5 のストレートケーブルをお使いください。

OS への TCP/IP の組み込みと設定

CS-6000N の設定に使うコンピュータへ、TCP/IP を組み込みます。TCP/IP は、CS-6000N の各種設定を行うために必要です。

TCP/IP の組み込み手順を、OS ごとに説明します。

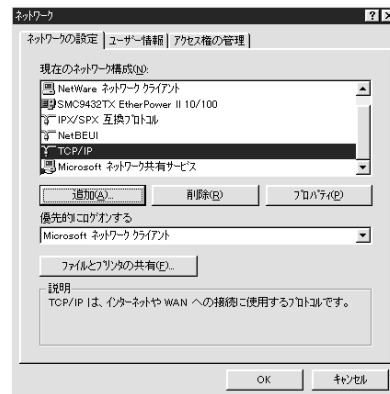
- Windows95/98.....3-3 ページへ
- WindowsNT4.0.....3-4 ページへ
- WindowsNT3.51.....3-5 ページへ
- Macintosh.....3-6 ページへ

Windows95/98

以下は、Windows95 の画面です。

1 TCP/IP の確認

コントロールパネルにある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]画面の[現在のネットワーク構成]に TCP/IP があることを確認します。

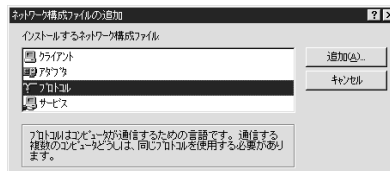


2 TCP/IP の追加 (組み込まれていない場合)

TCP/IP が組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で [追加] ボタンをクリックして[プロトコル]を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。製造元: Microsoft、ネットワークプロトコル: TCP/IP をクリックして追加します。

追加した TCP/IP をダブルクリックして[TCP/IPのプロパティ]を起動し、IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定する IP アドレスなどは付録「困ったときは」(付-14 ページ)を参照してください。



ここで設定する IP アドレス等の項目は、コンピュータに対するものです。

準備作業

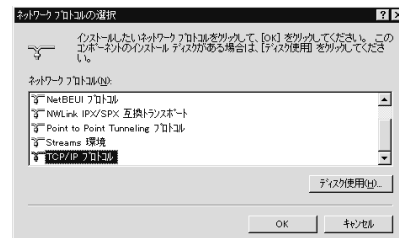
1 TCP/IPの確認

コントロールパネルにある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面でTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認します。



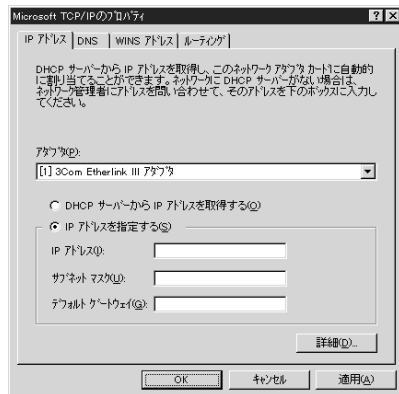
2 TCP/IPの追加 (組み込まれていない場合)

TCP/IPプロトコルが組み込まれていない場合は、手順1の画面で **追加** ボタンをクリックして、TCP/IPプロトコルを追加します。画面の指示にしたがってください。



インストールが終了して、ネットワーク画面で **閉じる** ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IPのプロパティ]画面が表示され、IPアドレスなどの必要事項を設定できます。設定するIPアドレスなどは付録「困ったときは」(付-14ページ)を参照してください。

インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。



ここで設定するIPアドレス等の項目は、コンピュータに対するものです。

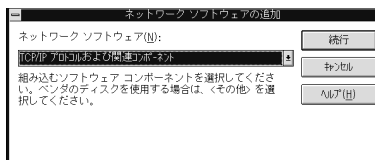
1 TCP/IP の確認

コントロールパネルにある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、TCP/IP プロトコルが組み込まれていることを確認します。



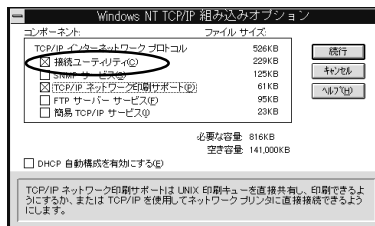
2 TCP/IP の追加 (組み込まれていない場合)

TCP/IP プロトコルが組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で [ソフトウェアの追加] ボタンをクリックし、[TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント] を選択します。

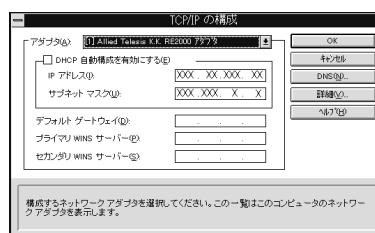


[Windows NT TCP/IP 組み込みオプション] 画面が表示されるので、[接続ユーティリティ] をチェックします。

この後は画面の指示にしたがってください。



インストールが終了して、[ネットワークの設定]画面で [OK] ボタンをクリックすると、[TCP/IP の構成]画面が開き IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定する IP アドレスなどは付録「困ったときは」(付-14 ページ)を参照してください。



インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。



ここで設定する IP アドレス等の項目は、コンピュータに対するものです。

Macintosh(Open Transport 使用)

Open Transport (MacOS のネットワーク環境モジュール) を使用する場合の設定手順は、次の通りです。

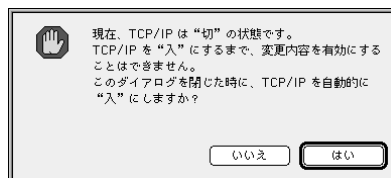
1 AppleTalk の経路先確認

コントロールパネルで[AppleTalk]アイコンをダブルクリックし、経路先が[Ethernet]に設定されていることを確認します。

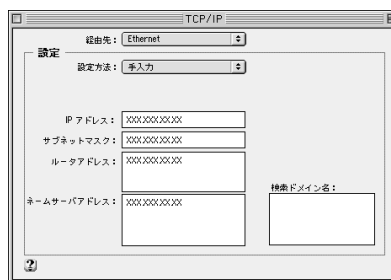
2 アドレスの設定(設定されていない場合)

コントロールパネルの[TCP/IP]をダブルクリックします。

このとき次の画面が表示されたら、**はい** ボタンをクリックしてください。



設定方法を[手入力]にして、各種アドレスを設定します。設定する IP アドレスなどは付録「困ったときは」(付-14 ページ)を参照してください。



ここで設定する IP アドレス等の項目は、コンピュータに対するものです。

Macintosh(旧ネットワークソフト使用)

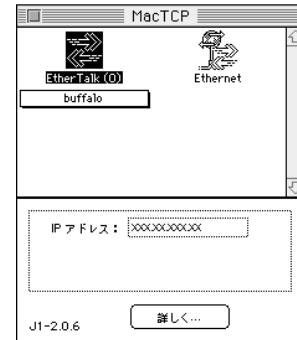
旧ネットワークソフトを使用する場合の設定手順は次のとおりです。

1 EtherTalkの確認

コントロールパネルの[ネットワーク]を起動して、[EtherTalk]を選択します。

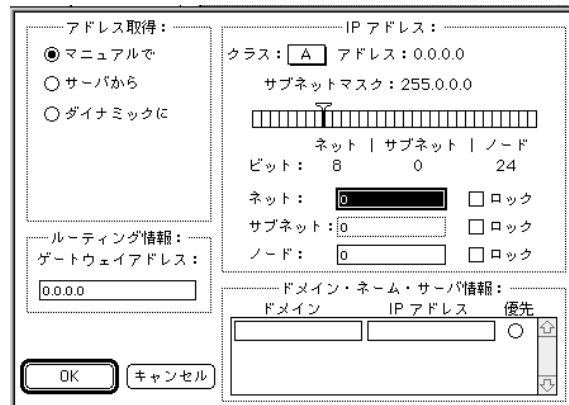
2 IPアドレスの確認

コントロールパネルで[MacTCP]アイコンをダブルクリックし、IPアドレスが設定されていることを確認します。



3 アドレスの設定(設定されていない場合)

IPアドレスが設定されていない場合は、**詳しく...** ボタンをクリックして次の画面で各種アドレスを設定してから、手順2の画面でIPアドレスを設定してください。設定するIPアドレスなどは付録「困ったときは」(付-14ページ)を参照してください。



- ・ 旧ネットワークソフトでは、ネットワークスキャンが行えません。ネットワークスキャンをお使いになる場合は、Open Transport を選択してください。
- ・ ここで設定する IP アドレス等の項目は、コンピュータに対するものです。

準備作業

CS-6000N の IP アドレス設定

CS-6000N をネットワーク環境で使うには、CS-6000N に対して次の3つを設定します。
この設定をしておかないと、ネットワーク機能は使えません。

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス

設定する IP アドレスについては付録「困ったときは」(付-14 ページ)を参照してください。

CS-6000N 操作パネルからの設定

CS-6000N の設置後、はじめて IP アドレスを設定する場合は、CS-6000N の操作パネルから次の手順で行います。



ここで設定した CS-6000N の IP アドレスを、クライアントおよび他の CS-6000N 管理者に知らせてください。
クライアントは、ネットワークスキャンやカラーコピーシステムの状態確認をするときに使います。

1 カラーコピーシステムの起動

次の画面が表示されるまで、**スタート** と **ストップ** ボタンの両方を押しながら、カラーコピーシステムの電源をオンにします。

ユーザー設定画面が表示されたら、画面の **設定** ボタンを押して[ネットワーク設定]画面を表示させます。



2

各アドレスの設定

各アドレス名のボタン **IPアドレス** **サブネットマスク** **ゲートウェイ** を押して、テンキーですべてのアドレスを入力します。

ネットワーク設定

XXX.XXX.XXX.XXX IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX サブネットマスク

XXX.XXX.XXX.XXX ゲートウェイ

入力: テンキー
選択項目クリア: テンキーC

自動判別 Ethernet

決定

- ・ IPアドレスには、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されているIPアドレスと重複しない値を入力します。



CS-6000NにIPアドレスを設定している場合、CS-6000Nをネットワークに接続していないと、コピーシステムが使用できなくなります。
IPアドレスを設定したら、必ずネットワークに接続してください。ネットワークに接続しない場合は、IPアドレスを000.000.000.000（工場出荷時設定）にしてください。

- ・ サブネットマスクは、設定したIPアドレスのクラスに適した値を設定してください。設定可能な値については、本書の付-12を参照してください。
- ・ ゲートウェイには、ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを入力します。
ゲートウェイがない場合は、000.000.000.000のままにしておいてください。

Cキーを押すと、入力したアドレスがクリアされます。

◀ ボタンでカーソルが左に、▶ ボタンでカーソルが右に移動します。



- ・ CS-6000Nは100BASE-TX/10BASE-Tの自動切り替えで動作しますが、HUBとの相性で自動切り替えが正常に動作しない場合は、**Ethernet** ボタンで、ネットワーク環境を100BASE-TXまたは10BASE-Tに設定します。**Ethernet** ボタンを押すごとに、自動判別 100BASE 10BASE と設定が切り替わります。(初期値は自動判別)
- ・ CS-6000Nは、DHCPによるIPアドレスの自動取得には対応していません。必ず固定のIPアドレスを設定してください。

3 設定の保存

プリンタとスキャナの電源がオンになっていることを確認し、**決定** ボタンを押します。

キャンセル ボタンを押すと設定が無効になります。

4 設定終了

手順1の画面に戻りますので、**終了** を押して設定を終了します。CS-6000Nが起動します。

この後は、CS-6000Nの設定をします。次ページに進んでください。



- CS-6000Nの各種アドレスを一度操作パネルで設定しておけば、アドレスの変更はWebAdminからも簡単に行えます。付-10ページをご覧ください。
- CS-6000Nをネットワーク接続せずに使用する場合は、IPアドレスを000.000.000.000（工場出荷時設定）に設定した状態でお使いください。

CS-6000N と管理者情報の設定

WebAdmin で、使用する CS-6000N の基本情報と管理者情報を設定します。



- WebAdmin の動作環境やその他ポイントについては、1-4 ページをご覧ください。
- 起動時間を短縮するために、1-6 ページの説明にある設定を行っておいてください。

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdmin の起動

Web ブラウザを起動して、次の URL を半角で入力します。

書式) http://CS-6000N のホスト名または IP アドレス /WebAdmin.html

例) http://192.168.100.201/WebAdmin.html (W と A は大文字)

- CS-6000N のホスト名
DNS サーバに CS-6000N のホスト名称を登録してある場合は、その名称が使えます。
- CS-6000N の IP アドレス
設定する CS-6000N の IP アドレスを指定します。
 または キーを押して起動します。

ユーザー名とパスワードを入力します。

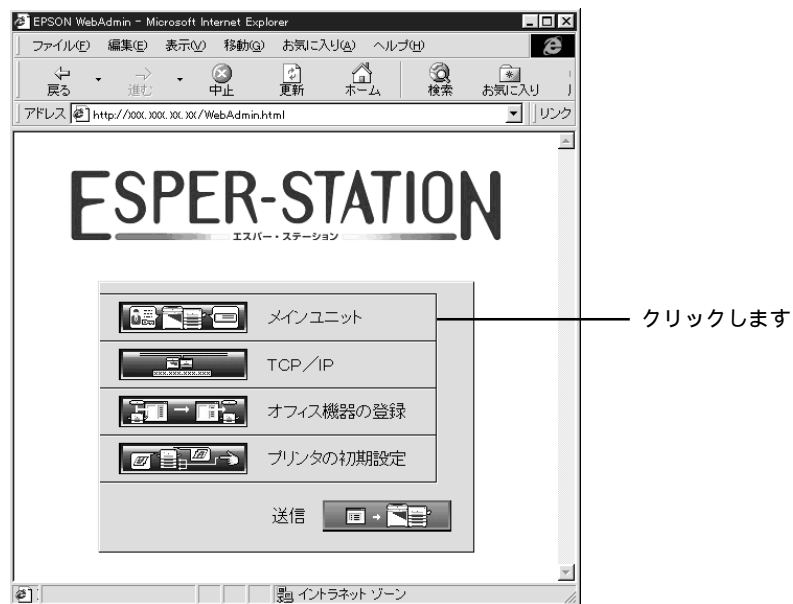
次の画面でユーザー名(初期値は administrator)とパスワード(初期値は administrator)を入力すると、WebAdmin が起動します。

ここをチェックしておくで、入力したユーザー名とパスワードが記憶され、次回の起動時に表示されます。

準備
作業

3 設定画面の選択

WebAdminが起動したら、**メインユニット** ボタンをクリックして起動します。



4 メインユニット基本設定

メインユニットの[基本]画面では、CS-6000Nの基本情報を設定できます。
[基本]画面は、[基本]タブをクリックすると表示されます。

WebAdmin Main Unit Settings

基本 | 管理者 | 機能設定

名称

所属

モデル名

メモリー MB

OK キャンセル

警告: アフレットウイトウ

| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------------------------------|--|
| 名称 | CS-6000N の名称を半角英数 15 文字以内で設定します。初期値は Esper Station です。 CS-6000N の情報を Windows ディレクトリの hosts ファイルに登録する場合は、この名称をホスト名として登録することをおすすめします。 |
| 所属 | CS-6000N を所有するグループ名、部門名、職場名などを半角英数 40 文字以内で設定します。この項目は省略できます。 |
| モデル名 | CS-6000N のモデル名を表示します。 |
| メモリー | CS-6000N に搭載されているメモリー容量 (MB) を表示します。 |
| <input type="button" value="OK"/> | 設定を保存します。 |
| <input type="button" value="キャンセル"/> | 設定を取り消します。 |

準備作業

5 メインユニット管理者設定

メインユニットの[管理者]画面では、CS-6000Nの管理者情報を設定できます。[管理者]画面は、[管理者]タブをクリックすると表示されます。

WebAdmin Main Unit Settings

基本 | 管理者 | 機能設定

氏名

ログイン administrator

パスワード *****

再確認 *****

Eメール

電話

OK キャンセル

警告: ファレットユニット



ユーザー名（この画面の[ログイン]欄で入力したもの）とパスワードは忘れないようにしてください。

忘れた場合はCS-6000Nシステムを工場出荷時の設定に戻して、再度、本マニュアルにある操作をはじめから行うこととなります。ご注意ください。

工場出荷時の設定に戻す方法は、付録「工場出荷時設定に戻す」(付-2ページ)をご覧ください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------|---|
| 氏名 | CS-6000Nの管理者名を半角英数20文字以内で設定します。この項目は省略できます。 |
| ログイン | 管理者のログイン名を半角英数20文字以内で設定します。WebAdminの起動時に[ユーザー名]として使います。初期値はadministratorです。 |
| パスワード | 管理者のパスワードを半角英数20文字以内で設定します。WebAdminの起動時に使います。初期値はadministratorです。 |
| 再確認 | 管理者のパスワードを再入力します。 |
| Eメール | 管理者のEメールアドレスを半角英数50文字以内で設定します。この項目は省略できます。 |
| 電話 | 管理者の電話番号を半角英数30文字以内で設定します。この項目は省略できます。 |
| OK | 設定を保存します。 |
| キャンセル | 設定を取り消します。 |

6 メインユニット機能設定（サーバスキャンの設定）

メインユニットの[機能設定]画面では、サーバスキャン機能の有効/無効を設定できます。[機能設定]画面は、[機能設定]タブをクリックすると表示されます。



7 設定の確定

OK ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdminのオープニング画面にある**送信** ボタンをクリックしてください。情報がCS-6000Nに送信され、CS-6000Nが再起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約2分間表示されます。その後「通知：WebAdminを再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- **送信** ボタンをクリック後、CS-6000Nへの情報送信が終了するまで、Webブラウザを終了させないでください。
- **送信** ボタンをクリックしたときに、CS-6000Nでコピー、ネットワークスキャン等を実行中の場合、メッセージが表示され、情報送信は行われません。メッセージの画面で**OK**をクリックすると、送信を中止します。CS-6000Nの動作が終了した後に再度送信を行ってください。
- CS-6000Nの再起動中は、CS-6000Nにアクセスできません。

準備作業

以上で、準備作業は終了です。使用する機能に応じて、下記ページを参照して設定を続けてください。

- ・ サーバスキャンの設定 (WindowsNT) 4-1 から
- ・ サーバスキャンの設定 (NetWare) 5-1 から

ネットワークスキャンとカラーコピーシステムの状態確認は、CS-6000N の IP アドレス設定だけでご利用いただけますので、設定は終了です。

サーバスキャンの設定 (WindowsNT)

ここでは、WindowsNT3.51/4.0からサーバスキャンを使用する場合の設定について、説明します。

NetWareでのサーバスキャンの設定に関しては、「サーバスキャンの設定 (NetWare)」を参照してください。

| | |
|----------------------------|----------|
| ソフトウェアについて | 4-2 ページ |
| サーバスキャンの使用 / 不使用の設定 | 4-3 ページ |
| 共有フォルダの作成 | 4-6 ページ |
| ファイルサーバへのユーザ登録 | 4-8 ページ |
| Management Console のインストール | 4-10 ページ |
| 新規スキャナ設定 | 4-11 ページ |
| ネットワークスキャナ情報の変更 | 4-21 ページ |
| サーバスキャン設定の削除 | 4-27 ページ |



この章では、WindowsNTサーバについて次のような名称を使っています。

- ・ ドメインに参加しているサーバ (プライマリドメインコントローラおよびバックアップドメインコントローラを除く) 「メンバーサーバ」
- ・ ドメインに参加していないサーバ 「スタンドアロンサーバ」

ソフトウェアについて

管理者がCS-6000Nのサーバスキャン設定に使うソフトウェアは次のとおりです。

| ソフトウェア | 説明 |
|--------------------|--|
| WebAdmin | CS-6000N に内蔵されているプログラムで、サーバスキャンの有効/無効を設定します。 Web ブラウザ上で使います。 |
| Management Console | 本製品付属のソフトウェアです。 サーバスキャンを利用するスキャナやユーザの設定をします。 ファイルサーバとして使用する WindowsNT3.51/4.0 にインストールして使います。 |

WindowsNT で使用する場合、Management Console とファイルサーバの動作 OS は次のとおりです。

| ファイルサーバとして使用する OS | Management Console |
|----------------------|-------------------------|
| WindowsNT3.51 Server | 使用するファイルサーバ上にインストールします。 |
| WindowsNT4.0 Server | |

ファイルサーバが WindowsNT の場合、CPU は Intel 系 (i386 以上)、また DOS/V 機のみ対象になります。



- ・ サービスパックの導入について
WindowsNT4.0 Server にはサービスパック 3 以上の、
WindowsNT3.51 Server にはサービスパック 5 以上の導入が必要です。
- ・ ネットワーク環境について
CS-6000N とファイルサーバの間にルータがあると、サーバスキャンが行えません。
ご注意ください。
- ・ サーバスキャンを行う時は、ネットワークスキャナがファイルサーバにアクセスするため、ユーザーアカウントを 1 つ使用します。
- ・ プライマリドメインコントローラが WindowsNT4.0 で、バックアップドメインコントローラまたはメンバーサーバが WindowsNT3.51 の組み合わせの場合、バックアップドメインコントローラまたはメンバーサーバではサーバスキャンの設定はできません。プライマリドメインコントローラが、WindowsNT4.0 のメンバーサーバで設定してください。

サーバスキャンの使用 / 不使用の設定

まず、WebAdmin でサーバスキャンの使用 / 不使用を設定します。



- WebAdmin の動作環境やその他ポイントについては、1-4 ページをご覧ください。
- 起動時間を短縮するために、1-6 ページの説明にある設定を行っておいてください。

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdmin の起動

Web ブラウザを起動して、次の URL を半角で入力します。

書式) http://CS-6000N のホスト名または IP アドレス /WebAdmin.html

例) http://192.168.100.201/WebAdmin.html (W と A は大文字)

または キーを押して起動します。

ユーザー名とパスワードを入力します。

次の画面でユーザー名(初期値は administrator)とパスワード(初期値は administrator)を入力すると、WebAdmin が起動します。

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

リソース: WebAdmin

ユーザー名(U): administrator

パスワード(P): *****

このパスワードを保存する(S)

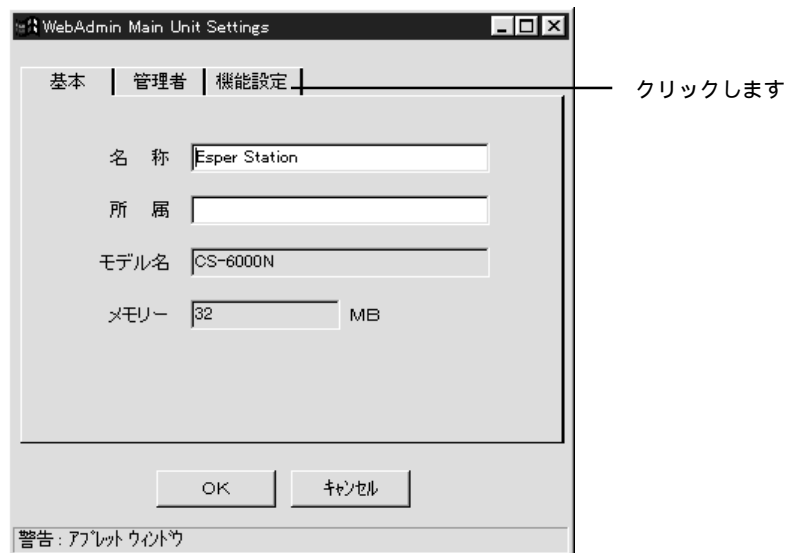
OK
キャンセル

3 設定画面の選択

WebAdminが起動したら、**メインユニット** ボタンをクリックして起動します。



メインユニットの設定画面が表示されます。画面上部の[機能設定]タブをクリックします。



4 サーバスキャンの設定

サーバスキャンの設定をします。



すでに Management Console でサーバスキャンを設定してある CS-6000N に対しては、この画面で有効 無効に変更しないでください。
有効 無効に変更すると、Management Console で設定したファイルサーバなどの情報がすべてクリアされ、再登録が必要になります。



| 設定項目 | 設定内容 |
|------------|--|
| サーバスキャンの設定 | サーバスキャンの使用/不使用を指定します。使用する場合は有効を選択します。サーバスキャンを使用しない場合は、必ず無効を選択してください。 |
| OK | 設定を保存します。 |
| キャンセル | 設定を取り消します。 |

5 設定の確定

OK ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdmin のオープニング画面にある **送信** ボタンをクリックしてください。情報が CS-6000N に送信され、CS-6000N が再起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約 2 分間表示されます。その後、「通知：WebAdmin を再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- **送信** ボタンをクリック後、CS-6000N への情報送信が終了するまで、Web ブラウザを終了させないでください。
- CS-6000N の再起動中は、CS-6000N にアクセスできません。

共有フォルダの作成

次に、ファイルサーバにサーバスキャン用の共有フォルダを2種類作成します。



サーバスキャン用の共有フォルダとは

- ・ サーバスキャンの情報を保存するためのフォルダです。エクスプローラなどで作成します。
- ・ 共有フォルダには2種類あります。
スキャナホームフォルダ：
Management Console で設定するスキャナ情報とユーザ情報を保存するフォルダで、CS-6000N 1台につき1つ作成します。
ユーザースキャンフォルダ：
サーバスキャンのジョブファイルとスキャンデータを保存するフォルダで、ユーザ1人につき1つ作成します。登録できるユーザースキャンフォルダは、最大30個です。

1 ファイルサーバの起動

サーバスキャン用の共有フォルダを作成するファイルサーバを起動し、管理者の権限でログインします。以下の設定はファイルサーバマシンで行ってください。クライアントからは設定できません。



CS-6000N は DHCP による IP アドレスの自動取得には対応していません。設定に使う WindowsNT Server の IP アドレスは固定にしてください。

2 サーバスキャン用の共有フォルダ作成

エクスプローラやファイルマネージャを起動して、WindowsNT ファイルサーバ上 (階層はどの位置でもかまいません) にサーバスキャン用の共有フォルダとして、スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダを作成します。フォルダパスは、MS-DOS の 8.3 形式で作成してください。

作成例)

```
c:¥
├─ ScanHome..... スキャナホームフォルダ (共有)
└─ Users..... ユーザースキャンフォルダ (共有)
```



- 2つの共有フォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。
- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダを兼用することはできません。2つを兼用すると正常に動作しません。この場合は、WebAdmin でサーバスキャンを無効にしてからフォルダを削除してください。

```
× C:¥
  └─ Folder.. スキャナホームフォルダ / ユーザースキャンフォルダ兼用
```

- ユーザースキャンフォルダをスキャナホームフォルダの下に作成しないでください。この場合、Management Console でサーバスキャン設定を削除したときに、ユーザースキャンフォルダも削除されてしまいます。

```
× C:¥
  └─ ScanHome.... スキャナホームフォルダ
     └─ Users.... ユーザースキャンフォルダ
```

ファイルサーバへのユーザ登録

続いて、ネットワークスキャナを利用するユーザを、ファイルサーバに登録します。WindowsNT4.0の画面で説明します。



以下の作業を行う前に、サーバスキャンとして使用するサーバが下記の に該当するか確認してください。下記 に該当する場合、設定を行うには下記 に示す条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

設定を行うために特別な注意が必要なサーバ

- ・ ドメインのメンバーサーバ
- ・ 同一ネットワーク上に存在する、同じ名前のドメインとワークグループの、ワークグループのサーバ
(同一ネットワーク上に、同じ名前のドメインとワークグループを作成することは、一般的には行うべき構成ではありません。)

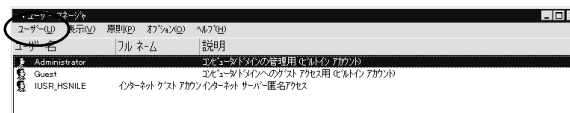
上記の に示すサーバに対して設定を行う場合の条件

- ・ 設定を行う方が、ドメインの管理者権限をログイン権限に持っていること
- ・ 設定を行う方が、使用するサーバのローカルの管理者権限を持っていること
- ・ ドメインの管理者権限と、ローカルの管理者権限のパスワードが同じであること
- ・ ユーザーの登録は、プライマリドメインコントローラと、スタンドアロンサーバの両方で行うこと

1 ドメインユーザーマネージャの起動

WindowsNT Server で、[スタート]-[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[ドメインユーザーマネージャ]を起動します。メニューバーの[ユーザー]から、[新しいユーザー]を選択して起動します。

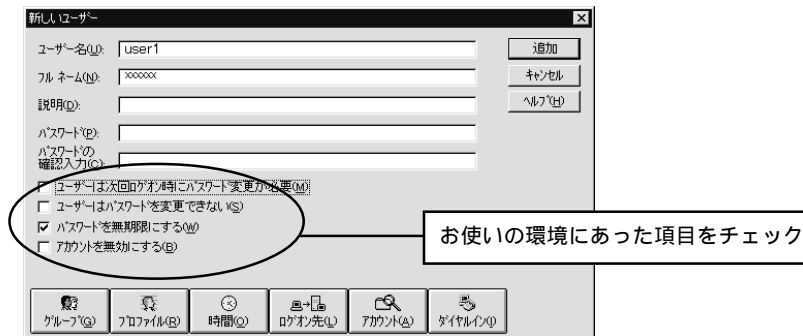
WindowsNT3.51の場合は、[プログラムマネージャ]-[管理ツール]-[ドメインユーザーマネージャ]を起動します。



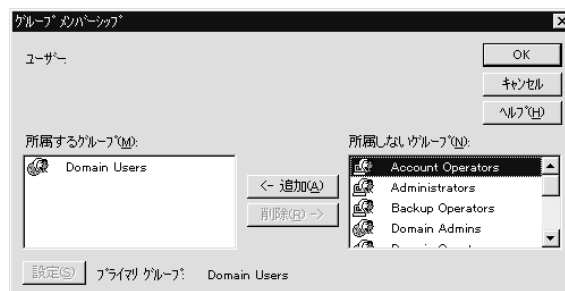
2 ユーザー登録

[新しいユーザー]画面で、ユーザー名(20文字以内、大文字・小文字の区別なし)、フルネーム、パスワード(14文字以内、大文字・小文字の区別あり)を入力します。

ここで設定したユーザー名は、Management Consoleの[ユーザーの追加]画面にある[ログイン名]で使用しますので、記録しておいてください(4-18ページ)。



の画面左下の **グループ** ボタンをクリックして、ご使用の環境にあったグループを追加し、**OK** ボタンをクリックします。



の画面に戻りますので、**追加** ボタンをクリックして、**閉じる** ボタンをクリックします。

続いて、Management Console をインストールします。次ページへ進んでください。

Management Console のインストール

Management Console の動作環境

WindowsNT をお使いになる場合、Management Console の動作環境は次のとおりです。

- ・ ファイルサーバの OS
WindowsNT3.51/4.0 Server
- ・ Management Console の動作 OS
WindowsNT3.51/4.0 Server
CPU: i386 系



サービスパックの導入について

WindowsNT4.0 Server にはサービスパック 3 以上の、
WindowsNT3.51 Server にはサービスパック 5 以上の導入が必要です。

インストール



WindowsNT Server を使う場合、Management Console はその WindowsNT Server 上でのみご利用になれます。WindowsNT Server にインストールしてください。
インストール先の WindowsNT Server 上で、本製品に同梱の Management Console より古いバージョンの Management Console をお使いの場合は、インストールの前に、CS-6000N ソフトウェア CD-ROM の、Mconsole¥Disk1 フォルダ内にある setup.txt を必ずお読みください。

添付 CD-ROM [CS-6000N ソフトウェア CD-ROM] のルート上にある、[setup.exe] を実行します。
右の画面が表示されますので、
[Management Console のインストール] をダブルクリックしてください。この後は画面の指示にしたがってください。



インストールが終了したら、Management Console で新規スキャナを設定します。次ページへ進んでください。

新規スキャナ設定

ファイルサーバへの共有フォルダ作成と、ファイルサーバへのユーザ登録が終わったら、Management Consoleで、サーバスキャン用のスキャナの設定とスキャナを使うユーザの情報を設定します。



- 同一ネットワーク内に複数台のCS-6000Nを接続してサーバスキャンを使用する場合、新規スキャナの設定は1台ずつ行ってください。
- Management Consoleで誤った設定をしたり、ファイルサーバを変えたりした場合は、サーバスキャンを削除して、再度登録し直すこととなりますのでご注意ください。
- Management Consoleを起動するときに、設定するネットワークスキャナが使用中でないことを確認してください。
- Management Consoleを実行する場合には、必ず管理者権限でファイルサーバにログインしてください。
- Management Consoleについての注意点など最新の情報は、Management Consoleの「はじめにお読みください」に記載されていますので必ずお読みください。

Management Consoleの起動

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000Nのネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 ファイルサーバの起動

WindowsNT Serverに管理者の権限でログインし、WindowsNT Server上でManagement Consoleを使用します。

3 Management Consoleの起動

- WindowsNT4.0 Serverの場合
[スタート]-[プログラム]-[Management Console]-[Management Console]の順にクリックします。
- WindowsNT3.51 Serverの場合
[Management Console]グループの[Management Console]アイコンをダブルクリックします。

ネットワークスキャナの新規登録

ネットワークスキャナを接続しただけでまだ登録していない場合は、次の順でネットワークスキャナの新規登録をします。



誤った設定を登録してしまった場合、登録した設定を削除して最初（4-3 ページ）からやり直す必要があります。
ここからの設定はくれぐれもお間違えのないよう、慎重に行ってください。

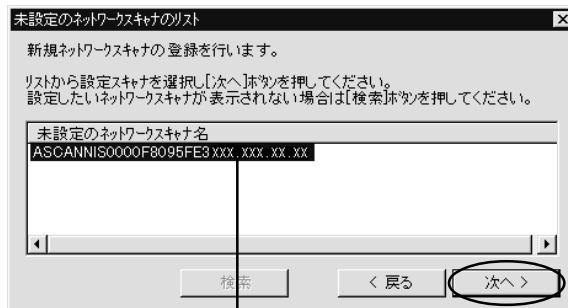
1 Management Console の起動

Management Consoleを起動するとこの画面になります。この画面で **新規登録** ボタンをクリックします。



2 ネットワークスキャナの選択

しばらくすると、まだ設定されていないスキャナが表示されます。登録するネットワークスキャナをクリックし、**次へ** ボタンをクリックします。



表示される IP アドレスで、設定するスキャナを判別します。



ここで、設定したいスキャナが表示されず、**検索** ボタンを何回かクリックしても表示されない場合は、次の ~ の作業を行ってください。

WindowsNT Server と CS-6000N とで、サブネットマスクの設定値が一致しているか確認し、一致していない場合は正しく設定し直して、新規スキャナ設定をやり直してください。

上記の を行っても設定したいスキャナが表示されない場合は、Imhosts ファイルに以下の行を追加して、新規スキャナ設定をやり直してください。

CS-6000N の IP アドレス _ASCANNIS_#PRE (_ は半角スペース)

新規スキャナ設定が終了したら、Imhosts ファイルの上記の行は削除してください。



上記の 、 を行っても設定したいスキャナが表示されない場合は、一旦 WINS サービスを停止、または DNS を使用しない設定にしてから、新規スキャナ設定をやり直してください。

3 ネットワークスキャナの設定

[ファイルサーバのタイプ]が[NT]になっていることを確認します。

確認します

| 設定項目 | 設定内容 |
|---------------|---|
| ファイルサーバのタイプ | ファイルサーバのタイプを選択します。 ここでは NT を選択します。 |
| ネットワークスキャナ名 | スキャナの名前を半角英数 255 文字以内で入力します。ネットワーク上にある他のネットワークスキャナの名前と重複しないようにしてください。 |
| 設置場所 | スキャナのある場所を半角英数 255 文字以内で入力します。 |
| プロダクト ID | プロダクト ID を表示します。 |
| スキャナホームフォルダパス | <p>スキャナホームフォルダのパスを入力します。ネットワーク上にある他のネットワークスキャナのフォルダパスや、4-18 ページの[ユーザスキャンフォルダ]と重複しないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の[フォルダパス]の部分は、新規のフォルダ名を指定してください。 書式) ファイルサーバ名/スキャナホームフォルダ名%フォルダパス 例) HOST1/ScanHome%scanner1 ・ エクスプローラで見た場合 C:¥HOST1 └ ScanHome └ scanner1 ・ MS-DOS の 8.3 形式で入力してください。 ・ すでに登録済みのフォルダを使う場合は、プルダウンや 参照 ボタンから選択することもできます。 ・ 入力できる文字は、半角英数 63 文字以内です。 ・ フォルダパスの階層は、24 階層以内です。 |



スキャナホームフォルダパスについて

- ・ **参照** ボタンをクリックすると、フォルダ参照画面が表示されます。この画面で、設定するファイルサーバ内のフォルダを選択して **OK** ボタンをクリックし、新規のフォルダパスを入力してください。



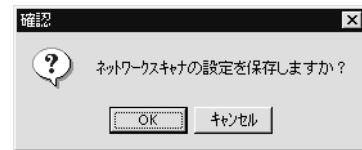
- ・ ネットワークスキャナ1台につき1つのフォルダを指定してください。複数のネットワークスキャナで1つのスキャナホームフォルダを共有することはできません。

| 設定項目 | 設定内容 |
|------------|---|
| ログイン名 | ファイルサーバへのネットワークスキャナのログイン名を、半角英数 20 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のログイン名や、ファイルサーバ名と重複しないようにしてください。 |
| パスワード | ファイルサーバへのネットワークスキャナのログインパスワードを、半角英数 14 文字以内で入力します。 |
| パスワードの確認入力 | ファイルサーバへのネットワークスキャナのログインパスワードを再入力します。 |
| SAP 名 | ネットワークスキャナの SAP 名が表示されます。変更する場合は、他のネットワークスキャナの SAP 名と重複しないようにします。半角英数 47 文字以内で入力してください。 |
| ホスト名 | ネットワークスキャナのホスト名を表示します。 |
| NDS ツリー名 | 設定は不要です。 |

4

設定の登録

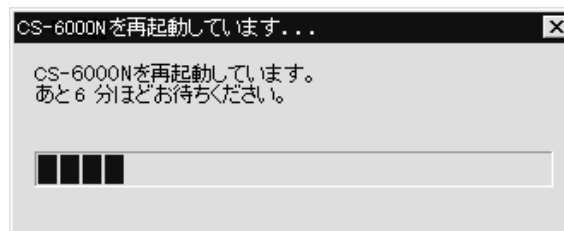
手順3で各項目を入力したら、**保存** ボタンをクリックします。確認画面が表示されるので、**OK** ボタンをクリックします。



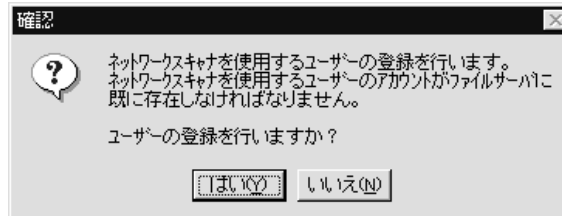
- このときに「ネットワークスキャナの登録が失敗しました」などのエラーメッセージが表示された場合は、スキャナホームフォルダパスなどの入力ミスが考えられます。正しく入力し直した上で、再度保存してください。
- このとき次の画面が表示されたら、Management Consoleを終了し、管理者権限を持ったユーザーでWindowsNT Serverにログインし直して、再度、ネットワークスキャナの新規登録を行ってください。



次の画面が表示され、ネットワークスキャナが再起動します。CS-6000Nが再起動するまで6分ほどかかります。その間Management Consoleを操作しないでください。



6分ほどたつと次の画面が表示されますので、**はい** ボタンをクリックします。
ネットワークスキャナの新規登録はこれで終了です。
次に、新規登録したスキャナを利用するユーザーの情報を設定します。次のページへ進んでください。



ネットワークスキャナを新規登録後、Windows ディレクトリ (WindowsNT4.0 は Winnt、WindowsNT3.51 は Winnt35 など) に、ネットワークスキャナのスキャナホームフォルダのリストが書かれているファイル、ConsoApp.ini が作成されます。
このファイルを、フロッピーなどにコピーして保管してください。
このファイルは、Management Console をインストールしたマシンが何らかの理由で使用できなくなった場合に、再度 Management Console をインストールして、すでに設定されているネットワークスキャナを変更するときに必要になります。

ネットワークスキャナのユーザー情報登録

新規登録したネットワークスキャナのユーザー情報を設定します。ユーザーは30人まで登録できます。

1 ネットワークスキャナのプロパティ起動

前ページの で **はい** ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。この画面で **ユーザーの追加** ボタンをクリックします。



2 ユーザーの追加

ネットワークスキャナのユーザーを追加します。

| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------|--|
| ユーザー名 | CS-6000N の操作パネルに表示されるユーザーの名前です。15文字以内の半角英数および半角カタカナで入力します。この名前は、ユーザーがサーバスキャンの操作を行う際に必要です。各ユーザーにこの名前を知らせてください。 |
| ログイン名 | サーバスキャンを使用するユーザーの、ファイルサーバへのログイン名を入力します。ここでは、4-8 ページ「ファイルサーバへのユーザ登録」で、ドメインユーザーマネージャから登録したユーザー名と同じものを入力します。 |
| ユーザースキャンフォルダ | ユーザースキャンフォルダのパスを入力します。他のユーザーのフォルダ名や、4-13 ページの[スキャナホームフォルダパス]と重複しないようにしてください。 <ul style="list-style-type: none">・下記の[フォルダパス]の部分は、新規のフォルダ名を指定してください。 書式) ファイルサーバ名/ユーザースキャンフォルダ名%フォルダパス 例) HOST1/users%user1・%および/の間はMS-DOSの8.3形式で入力してください。・すでに登録済みのフォルダを使う場合は、プルダウンや 参照 ボタンから選択することもできます。 |



ユーザースキャンフォルダについて

- ・ 4-13 ページ[ネットワークスキャナの設定]で登録したスキャナホームフォルダと同じファイルサーバ上に作成してください。
- ・ ネットワーク上にある他のユーザースキャンフォルダや、4-13 ページで設定した[スキャナホームフォルダパス]と重複しない名前を入力してください。
- ・ このフォルダは、クライアントがサーバスキャンしたデータを取り出す際に使用します。管理者は各ユーザーに、設定したユーザースキャンフォルダを知らせておいてください。
- ・ 複数のネットワークスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。



ユーザースキャンフォルダの設定について

- ・ **参照** ボタンをクリックすると、フォルダ参照画面が表示されます。この画面で、設定するファイルサーバ内のフォルダを選択して **OK** ボタンをクリックし、新規のフォルダパスを入力してください。



- ・ ユーザー 1 人につき 1 つのフォルダを指定してください。
- ・ ユーザースキャンフォルダをスキャナホームフォルダの下に作成しないでください。

3 設定の登録

設定が終了したら、**OK** ボタンをクリックします。

引き続きユーザーを追加する場合は、**ユーザーの追加** ボタンをクリックしてください。



4 Management Console の終了

ユーザー情報の登録が終了したら、**閉じる** ボタンをクリックします。



次の画面に戻るので、**終了** ボタンをクリックします。



以上で、サーバスキャンを行うための、ネットワークスキヤナとユーザー情報の新規登録は終了です。

サーバスキャンの操作手順については、ユーザーズガイドをご覧ください。



Management Console を起動した状態では、サーバスキャンは行えません。設定が終了したら、Management Console を終了してください。

ネットワークスキャナ情報の変更

登録済みのネットワークスキャナ情報およびユーザー情報を変更する方法を説明します。

情報画面の表示

1 Management Console の起動

Management Console を起動して、[ネットワークスキャナ名]のプルダウンから、設定するネットワークスキャナ名を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



設定したネットワークスキャナがプルダウンに表示されていない場合は、**検索** ボタンをクリックして検索します。

2 ネットワークスキャナのプロパティ画面

各タブをクリックすると、選択したユーザー情報の変更や、ネットワークスキャナ情報の変更ができます。各タブの詳しい説明は、次ページ以降をご覧ください。




| タブ名 | 設定内容 |
|--------------|--|
| ユーザー情報 | ネットワークスキャナのユーザーを設定します。次ページをご覧ください。 |
| ネットワークスキャナ情報 | ネットワークスキャナの情報を変更します。4-25 ページをご覧ください。 |
| チェック | Management Console 起動時の画面で選択したネットワークスキャナの設定をチェックします。4-26 ページをご覧ください。 |

ユーザー情報の追加・変更・削除

[ユーザー情報]タブで各ボタンをクリックして、ネットワークスキャナを使用するユーザーの追加、変更、削除をします。



| 設定項目 | 設定内容 |
|---------|---|
| ユーザーの追加 | クリックすると、ユーザーの追加画面に入ります。4-18 ページをご覧ください。 |
| ユーザーの削除 | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除します。 なお、ユーザーをファイルサーバから完全に削除する場合は、ドメインユーザーマネージャを使用してください。 |
| プロパティ | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、ユーザー情報の変更画面に入ります。詳しくは次ページをご覧ください。 |
| チェック | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、ユーザーが使用可能なネットワークスキャナの設定をチェックします。チェックが正常に終了すると、次のようなメッセージボックスを表示します。  |
| 閉じる | この画面を閉じます。 |

[ユーザーのプロパティ]画面

前ページの画面で **プロパティ** をクリックすると、この画面が表示されます。ここでは、ユーザー情報を変更できます。

| 属性 | 値 |
|--------------|-------------------|
| ユーザー名 | user1 |
| ログイン名 | user1 |
| ユーザーキャンフォールド | HOST1/users%user1 |

値:

説明

[属性]欄で設定する項目をクリックすると、[値]欄にその項目が表示されます。
[値]欄で任意の設定をして **変更** ボタンをクリックします。
各項目の設定方法については、[ユーザーの追加]画面をご覧ください。(4-18ページへ)

変更が終了したら、**保存** ボタンをクリックします。
ユーザー情報変更の確認画面が表示されます。**OK** ボタンをクリックすると、変更内容が保存されて[ユーザー情報]画面へ戻ります。

ネットワークスキャナ情報の変更

[ネットワークスキャナ情報]タブで、ネットワークスキャナ情報を変更します。



[属性]欄で設定する項目をクリックすると、[値]欄にその項目が表示されます。

[値]欄で任意の設定をして **変更** ボタンをクリックします。

各項目の設定方法については、[ネットワークスキャナの設定]画面をご覧ください。(4-13 ページへ)

変更が終了したら、**保存** ボタンをクリックします。確認画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックすると、変更内容が保存されます。

処理を終了する場合は、**閉じる** ボタンをクリックします。

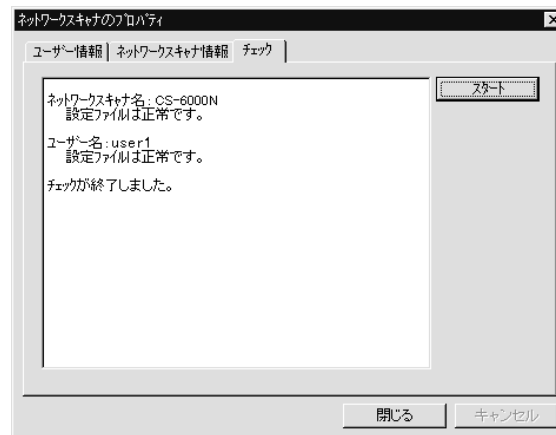
属性によっては、設定を変更して保存すると「CS-6000Nを再起動しています...」のメッセージが表示され、6分ほどたつと Management Console の起動時の画面が表示されます。Management Console の設定を終了する場合は、**終了** ボタンをクリックして終了します。

次の属性については、変更や削除はできません。

IP アドレス / IPX アドレス / プロダクト ID / スキャナホームフォルダパス / ログイン名 / ホスト名 / NDS ツリー名

ネットワークスキャナの設定チェック

[チェック]タブで、ネットワークスキャナについて、スキャナ情報やユーザースキャンフォルダなどのチェックをします。



スタート ボタンをクリックすると、チェックを開始します。

チェックの結果が表示されます。処理を終了する場合は、**閉じる** ボタンをクリックします。

サーバスキャン設定の削除

登録済みのサーバスキャン設定を削除するときは、Management Console で次の操作を行います。



- ここにある操作を行うと、選択したスキャナの情報が、フォルダ単位ですべて削除されます。また、WebAdmin の[サーバスキャンの設定]が初期値（無効）に戻ります。再度登録したいときは、4-3 ページからの操作を行うこととなりますので、ご注意ください。
- Management Console で作成したフォルダやファイルが使用中でないことを確認してください。

通常の削除方法

1 ネットワークスキャナの選択

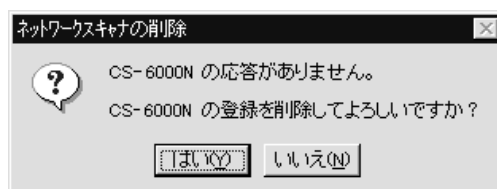
Management Console を起動します。削除するネットワークスキャナを選んで **削除** ボタンをクリックし、次の手順へ進んでください。



ネットワークスキャナの削除を実行すると、スキャナホームフォルダが削除されます。スキャナホームフォルダの下に別のフォルダやファイルがあると、それらも削除されてしまいますのでご注意ください。



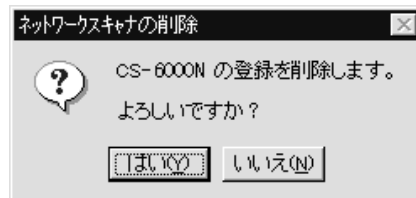
「ネットワークスキャナにアクセスできません」などのエラーメッセージが表示された場合は、**OK** ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されますので、**はい** ボタンをクリックします。



この後は、**終了** ボタンをクリックして Management Console を終了し、4-29 ページへ進んでください。

2 ネットワークスキャナの削除

選択したネットワークスキャナの登録を削除する確認画面が表示されるので、**はい** または **いいえ** ボタンをクリックします。**はい** をクリックすると設定が削除され、CS-6000N が再起動します。再起動するまで6分ほどかかります。



- ・ ここでサーバスキャン情報を削除しても、ユーザースキャンフォルダは残ります。ユーザースキャンフォルダを削除する場合はエクスプローラなどから行ってください。ただし、ユーザースキャンフォルダにはサーバスキャンしたデータが保存されていますのでご注意ください。また、ドメインユーザマネージャで登録したユーザーも残ります。必要に応じて削除してください。
- ・ ファイルサーバの変更など、ネットワークの構成を変更する場合は、登録済みのサーバスキャン設定を Management Console で削除して、再度、新規登録を行ってください。

再起動すると、Management Consoleの起動時の画面に戻ります。**終了** ボタンをクリックして Management Console を終了します。

エラーメッセージが表示された場合の削除方法

Management Console で **削除** ボタンをクリックしたときに、エラーメッセージが表示された場合は、次の手順で設定を削除してください。

1 ファイルサーバに残っている設定の削除

次の設定情報がファイルサーバに残っていますので、データの内容を確認の上、削除してください。



下記の と は、ファイルサーバの変更などで、サーバスキャンの設定を完全に削除したい場合に削除します。
設定をやり直す場合は、削除する必要はありません。

スキャナホームフォルダ

4-7 ページで作成した共有フォルダです。エクスプローラなどから削除してください。

スキャナ用アカウント (ログイン名)

4-14 ページの [ログイン名] で入力した名称で、ドメインユーザーマネージャにスキャナ用アカウントが登録されます。このスキャナ用アカウントを、ドメインユーザーマネージャから削除してください。

ユーザー名

4-8 ページで追加したユーザーです。ドメインユーザーマネージャから削除してください。

ユーザースキャンフォルダ

4-7 ページで作成した共有フォルダです。エクスプローラなどから削除してください。

2 CS-6000N の設定確認

WebAdmin を起動して、**メインユニット** ボタンをクリックし、メインユニット設定の [機能設定] 画面でサーバスキャンの設定を確認します。

サーバスキャンの設定が [有効] になっている場合は、[無効] に設定し、**送信** ボタンをクリックします。

これでサーバスキャン設定の削除は終了です。再設定する場合は、4-3 ページからの設定を行ってください。

サーバスキャンの設定 (NetWare)

ここでは、NetWare3.12J/3.2J/4.1xJ/5J からサーバスキャンを使用する場合の設定について説明します。

WindowsNT でのサーバスキャンの設定に関しては、「サーバスキャンの設定 (WindowsNT)」を参照してください。

| | |
|----------------------------|----------|
| ソフトウェアについて | 5-2 ページ |
| サーバスキャンの使用 / 不使用の設定 | 5-3 ページ |
| Novell Client のインストール | 5-6 ページ |
| ファイルサーバへのユーザ登録 | 5-7 ページ |
| Management Console のインストール | 5-10 ページ |
| 新規スキャナ設定 | 5-11 ページ |
| ネットワークスキャナ情報の変更 | 5-22 ページ |
| サーバスキャン設定の削除 | 5-28 ページ |

ソフトウェアについて

管理者がCS-6000Nのサーバスキャン設定に使うソフトウェアは次のとおりです。

| ソフトウェア | 説明 |
|--------------------|---|
| WebAdmin | CS-6000N に内蔵されているプログラムで、サーバスキャンの有効/無効を設定します。 Web ブラウザ上で使います。 |
| SYSCON | NetWare のユーティリティです。 NetWare3.xJ を使う場合に、利用ユーザを登録します。 |
| NWADMIN | NetWare のユーティリティです。 NetWare4.1xJ/5J を使う場合に、利用ユーザを登録します。 |
| Novell Client | NetWare サーバをお使いの場合に必要な、Novell のクライアントソフトウェアです。Management Console を実行するコンピュータにインストールします。 対応バージョンは次のとおりです。 IntranetWare Client for NT v4.10 以降 IntranetWare Client 32 for Windows95 1.1J2 以降 Novell Client for Windows 95/98 Ver.3.0 以降 |
| Management Console | 本製品付属のソフトウェアです。 サーバスキャンを利用するスキャナやユーザの設定をします。 Windows95/98、WindowsNT3.51/4.0 Workstation にインストールして使います。 |



- ・ ネットワーク環境について
CS-6000N とファイルサーバの間にルータがあると、サーバスキャンが行えません。
ご注意ください。
- ・ サーバスキャンのファイルサーバとして NetWare5J を使用する場合は、IPX をルーティングするようにしてください。
- ・ サーバスキャンを行う時は、ネットワークスキャナがファイルサーバにアクセスするため、ユーザーアカウントを1つ使用します。
- ・ NetWare5J をファイルサーバとして使用する場合は、サーバソフトに添付されている Novell Client をインストールしてください。

サーバスキャンの使用 / 不使用の設定

まず、WebAdmin でサーバスキャンの使用 / 不使用を設定します。



- WebAdmin の動作環境やその他ポイントについては、1-4 ページをご覧ください。
- 起動時間を短縮するために、1-6 ページの説明にある設定を行っておいてください。

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdmin の起動

Web ブラウザを起動して、次の URL を半角で入力します。

書式) `http://CS-6000N のホスト名または IP アドレス /WebAdmin.html`

例) `http://192.168.100.201/WebAdmin.html` (W と A は大文字)

または キーを押して起動します。

ユーザー名とパスワードを入力します。

次の画面でユーザー名(初期値は administrator)とパスワード(初期値は administrator)を入力すると、WebAdmin が起動します。

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

リソース: WebAdmin

ユーザー名(U): administrator

パスワード(P): *****

このパスワードを保存する(S)

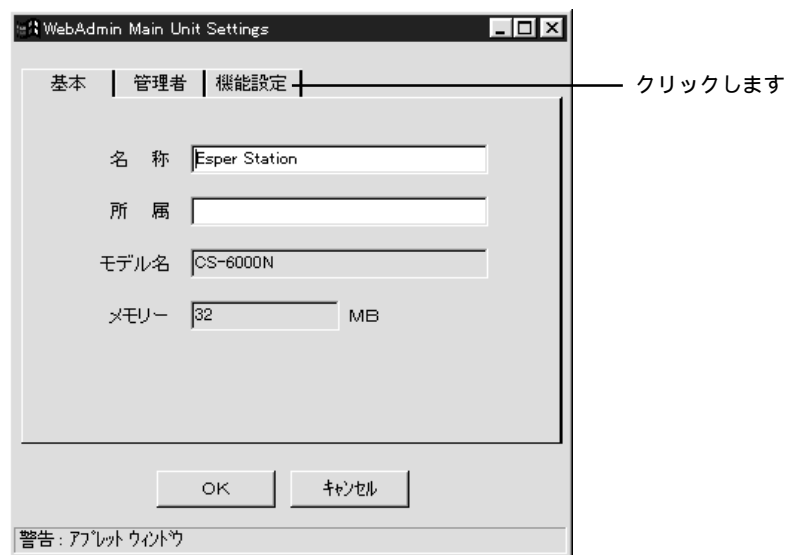
OK キャンセル

3 設定画面の選択

WebAdminが起動したら、**メインユニット** ボタンをクリックして起動します。



メインユニットの設定画面が表示されます。画面上部の[機能設定]タブをクリックします。



4 サーバスキャンの設定

サーバスキャンの設定をします。



すでに Management Console でサーバスキャンを設定してある CS-6000N に対しては、この画面で有効 無効に変更しないでください。
有効 無効に変更すると、Management Console で設定したファイルサーバなどの情報がすべてクリアされ、再登録が必要になります。



| 設定項目 | 設定内容 |
|------------|--|
| サーバスキャンの設定 | サーバスキャンの使用/不使用を指定します。使用する場合は有効を選択します。サーバスキャンを使用しない場合は、必ず無効を選択してください。 |
| OK | 設定を保存します。 |
| キャンセル | 設定を取り消します。 |

5 設定の確定

OK ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdmin のオープニング画面にある **送信** ボタンをクリックしてください。情報が CS-6000N に送信され、CS-6000N が再起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約 2 分間表示されます。その後、「通知：WebAdmin を再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- **送信** ボタンをクリック後、CS-6000N への情報送信が終了するまで、Web ブラウザを終了させないでください。
- CS-6000N の再起動中は、CS-6000N にアクセスできません。

Novell Client のインストール

次に、Management Console を実行するコンピュータに、Novell Client をインストールします。

下記サイトからダウンロードできます。

<http://www.novell.co.jp> (1999年6月現在)

すでにインストール済みの場合、ここでのインストールは不要です。

各 Windows に対応する Novell Client は次のとおりです。

- Windows95 : IntranetWare Client 32 for Windows95 1.1J2 以降
- Windows98 : Novell Client for Windows95/98 Ver.3.0 以降
- WindowsNT3.51/4.0 : IntranetWare Client for NT Ver.4.10 以降

なお、NetWare5J をサーバとして使用する場合は、サーバソフトに添付されている次の Novell Client をインストールしてください。

- Windows95/98 : Novell Client for Windows95/98 Ver.3.0
- WindowsNT3.51/4.0 : Novell Client for WindowsNT Ver.4.5

ファイルサーバへのユーザ登録

続いて、ネットワークスキャナを利用するユーザを、ファイルサーバに登録します。

NetWare3.xJ

1 NetWare へのログイン

設定する NetWare サーバに、管理者の権限でログインします。

2 SYSCON の起動

NetWare のユーティリティ SYSCON を起動します。

3 ネットワークスキャナを利用するユーザの登録

[利用可能な項目]から[ユーザ情報]を起動します。ユーザー一覧が表示されたら **Insert** キーを押して、ユーザのログイン名を 47 文字以内で指定します。

ここで設定したログイン名は、Management Console の[ユーザの追加]画面にある[ログイン名]で使用しますので、記録しておいてください (5-19 ページ)。

ログイン名を設定すると、[作成するユーザのディレクトリパス]画面が表示されますので、**esc** キーを押して終了します。

| 利用可能な項目 |
|--------------|
| アカウント処理 |
| カレントサーバの変更 |
| グループ情報 |
| スーパーバイザオプション |
| ファイルサーバ情報 |
| ユーザ情報 |

続いて、Management Console をインストールします。5-10 ページに進んでください。

1 NetWare へのログイン

設定する NetWare サーバに、管理者の権限でログインします。

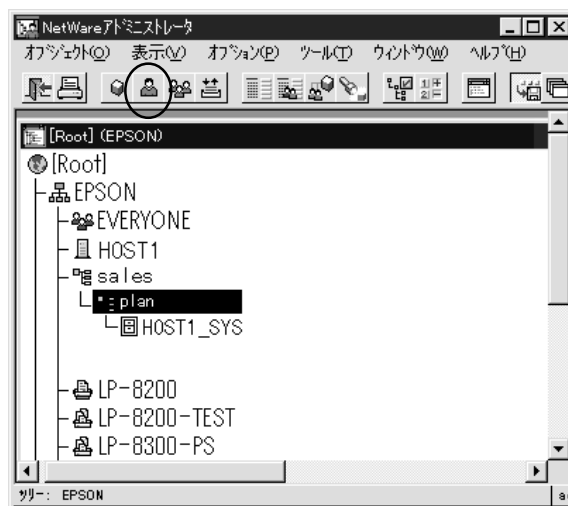
2 NWADMIN の起動

NetWare のユーティリティ NWADMIN を起動します。

3 ネットワークスキャナを利用するユーザの登録

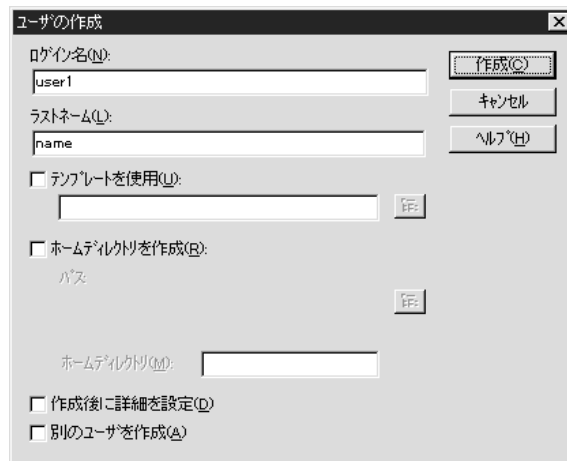
設定する NDS 上 (またはバインダリコンテキスト上) にユーザを作成します。
NDS モードの場合は任意の組織、部門下に、バインダリモードの場合はサーバのあるコンテキストの直下にユーザを登録します。

[ユーザオブジェクトの作成] ボタンをクリックして、[ユーザの作成] を起動します。

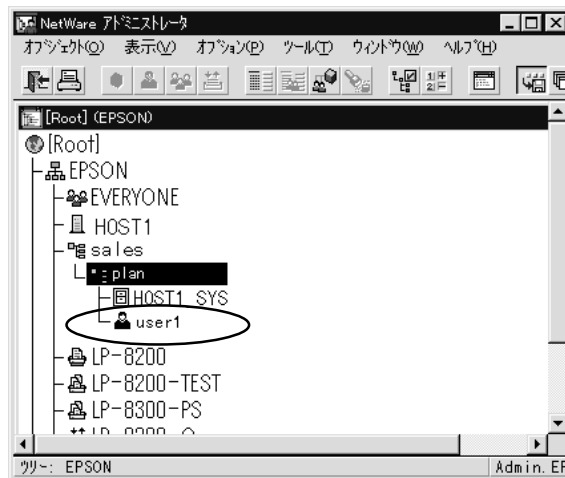


[ユーザの作成]画面で、ネットワークスキャナの[ログイン名](47文字以内、大文字・小文字の区別なし)[ラストネーム]を入力し、**作成** ボタンをクリックします。

ここで設定したログイン名は、Management Consoleの[ユーザーの追加]画面にある[ログイン名]で使用しますので、記録しておいてください(5-19ページ)。



NDS 上 (またはバインダリコンテキスト上) にユーザが作成されます。



続いて、Management Console をインストールします。次ページに進んでください。

Management Console のインストール

Management Console の動作環境

NetWare をお使いになる場合、Management Console の動作環境は次のとおりです。

- ファイルサーバの OS
NetWare3.12J/3.2J/4.1J/4.11J (IntranetWare-J) /5J
- Management Console の動作 OS
Windows95/98、WindowsNT3.51/4.0 Workstation (Novell Client が必要)

インストール



- Management Console はクライアントマシン上でのみご利用になれます。Novell Client をインストールしてある任意のコンピュータにインストールしてください。
- Management Console を、同一ネットワーク上の複数台のコンピュータにインストールしないでください。
- サーバスキャンのファイルサーバとして NetWare5J を使用する場合は、IPX をルーティングするようにしてください。

添付 CD-ROM [CS-6000N ソフトウェア CD-ROM] のルート上にある、[setup.exe] を実行します。右の画面が表示されますので、[Management Console のインストール] をダブルクリックしてください。この後は画面の指示にしたがってください。



インストールが終了したら、Management Console で新規スキャナを設定します。次ページへ進んでください。

新規スキャナ設定

Novell Client のインストールと、ファイルサーバへのユーザ登録が終わったら、Management Console で、サーバスキャン用のスキャナの設定とスキャナを使うユーザの情報を設定します。



- 同一ネットワーク内に複数台の CS-6000N を接続してサーバスキャンを使用する場合、新規スキャナの設定は1台ずつ行ってください。
- Management Console で誤った設定をしたり、ファイルサーバを変えたりした場合は、サーバスキャンを削除して、再度登録し直すこととなりますのでご注意ください。
- Management Console を起動するときに、設定するネットワークスキャナが使用中でないことを確認してください。
- Management Console を実行する場合には、必ず管理者権限でファイルサーバにログインしてください。
- Management Console についての注意点など最新の情報は、Management Console の「はじめにお読みください」に記載されていますので必ずお読みください。

Management Console の起動

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 ファイルサーバへのログイン

クライアントから、設定する NetWare サーバに、管理者の権限でログインします。複数の NetWare サーバにログインしている場合は、設定する NetWare サーバと NDS ツリーが、プライマリサーバおよびプライマリツリーに設定されていることを確認してください。

3 Management Console の起動

- Windows95/98/NT4.0 の場合
[スタート]-[プログラム]-[Management Console]-[Management Console]の順にクリックします。
- WindowsNT3.51 の場合
[Management Console]グループの[Management Console]アイコンをダブルクリックします。

ネットワークスキャナの新規登録

ネットワークスキャナを接続しただけでまだ登録していない場合は、次の順でネットワークスキャナの新規登録をします。



誤った設定を登録してしまった場合、登録した設定を削除して最初（5-3 ページ）からやり直す必要があります。
ここからの設定はくれぐれもお間違えのないよう、慎重に行ってください。

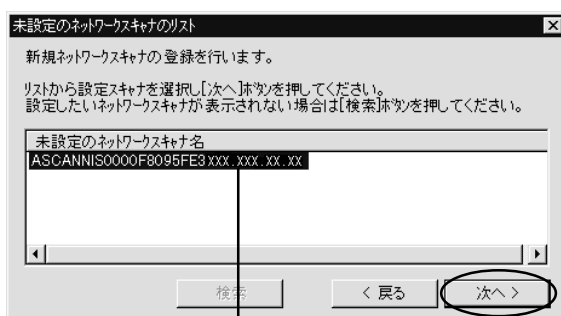
1 Management Console の起動

Management Console を起動するとこの画面になります。この画面で **新規登録** ボタンをクリックします。



2 ネットワークスキャナの選択

しばらくすると、まだ設定されていないスキャナが表示されます。登録するネットワークスキャナをクリックし、**次へ** ボタンをクリックします。



表示される IP アドレスで、設定するスキャナを判別します。

3 ネットワークスキャナの設定

[ファイルサーバのタイプ]でご利用のファイルサーバのタイプをクリックし、各項目を設定します。

| 設定項目 | 設定内容 | |
|-------------|---|--|
| ファイルサーバのタイプ | ファイルサーバのタイプを選択します。 ここでは NDS または NetWare Bindery を選択します。 | |
| | NDS | NetWare4.1xJ/5J で NDS モードをご使用の場合に選択します。 |
| | NetWare Bindery | NetWare3.xJ/4.1xJ/5J でバインダリモードをご使用の場合に選択します。 |
| ネットワークスキャナ名 | スキャナの名前を半角英数 255 文字以内で入力します。ネットワーク上にある他のネットワークスキャナの名前と重複しないようにしてください。 | |
| 設置場所 | スキャナのある場所を半角英数 255 文字以内で入力します。 | |
| プロダクト ID | プロダクト ID を表示します。 | |

| 設定項目 | 設定内容 |
|---------------|---|
| スキャナホームフォルダパス | <p>スキャナホームフォルダのパスを入力します。ネットワーク上にある他のネットワークスキャナのフォルダパスや、5-19ページの[ユーザースキャンフォルダ]と重複しないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MS-DOS の 8.3 形式で入力してください。 ・ すでに登録済みのフォルダを使う場合は、ブルダウンや 参照 ボタンから選択することもできます。 ・ 下記の[フォルダパス]の部分は新規のフォルダ名を指定してください。 ・ フォルダパスの階層は、24 階層以内です。 |
| | <p>ファイルサーバが NetWare NDS モードの場合 入力できる文字は、半角英数 228 文字以内です。 書式) CN=ファイルサーバ名_ボリューム名(.OU=部門名2.OU=部門名1).OU=組織名/フォルダパス 例) CN=HOST1_SYS.OU=plan.OU=sales.O=EPSON/ScanHome¥scanner1 NWADMIN で見た場合 EPSON └ sales └ plan └ HOST1_SYS └ ScanHome └ scanner1</p> |
| | <p>ファイルサーバが NetWare Bindery モードの場合 入力できる文字は、半角英数 63 文字以内です。 書式) ファイルサーバ名/ボリューム名:フォルダパス 例) HOST1/SYS:ScanHome¥scanner1 エクスプローラで見た場合 HOST1 └ SYS └ ScanHome └ scanner1</p> |



スキャナホームフォルダパスについて

- ・ **参照** ボタンをクリックすると、フォルダ参照画面が表示されます。この画面で、設定するファイルサーバ内のフォルダを選択して **OK** ボタンをクリックし、新規のフォルダパスを入力してください。



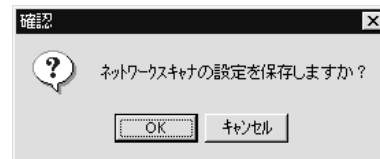
- ・ ネットワークスキャナ 1 台につき 1 つのフォルダを指定してください。複数のネットワークスキャナで 1 つのスキャナホームフォルダを共有することはできません。
- ・ 複数台のネットワークスキャナを NetWare 4.1xJ/5J サーバに登録する場合は、NDS モードと Bindery モードを混在させないでください。混在させると正常に動作しないため、サーバスキャンを削除して、再度登録することになります。

| 設定項目 | 設定内容 |
|------------|---|
| ログイン名 | ファイルサーバへのネットワークスキヤナのログイン名を、半角英数字で入力します。 ネットワーク上にある他のログイン名や、ファイルサーバ名と重複しないようにしてください。 |
| | ファイルサーバが NetWare NDS モードの場合 入力できる文字は、半角英数 47 文字以内です。 書式) CN=ログイン名 (.OU=部門名 2.OU=部門名 1) .O=組織名 例) CN=CS6000N.OU=plan.OU=sales.O=EPSON |
| | ファイルサーバが NetWare Bindery モードの場合 入力できる文字は、半角英数 47 文字以内です。 書式) ログイン名 例) CS-6000N |
| パスワード | ファイルサーバへのネットワークスキヤナのログインパスワードを、半角英数字で入力します。 |
| パスワードの確認入力 | ファイルサーバへのネットワークスキヤナのログインパスワードを再入力します。 |
| SAP 名 | ネットワークスキヤナの SAP 名が表示されます。変更する場合は、他のネットワークスキヤナの SAP 名と重複しないようにします。半角英数 47 文字以内で入力してください。 |
| ホスト名 | ネットワークスキヤナのホスト名を表示します。 |
| NDS ツリー名 | NDS ツリー名を半角英数 32 文字以内で入力します (NDS モードのみ)。 |

4

設定の登録

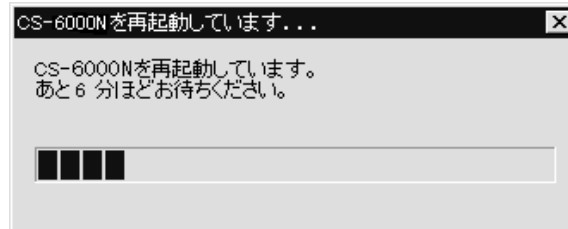
手順3で各項目を入力したら、**保存** ボタンをクリックします。確認画面が表示されるので、**OK** ボタンをクリックします。



- このときに「ネットワークスキャナの登録が失敗しました」などのエラーメッセージが表示された場合は、スキャナホームフォルダパスなどの入力ミスが考えられます。正しく入力し直した上で、再度保存してください。
- このとき次の画面が表示されたら、Management Consoleを終了し、管理者権限でNetWareサーバにログインし直して、再度、ネットワークスキャナの新規登録を行ってください。

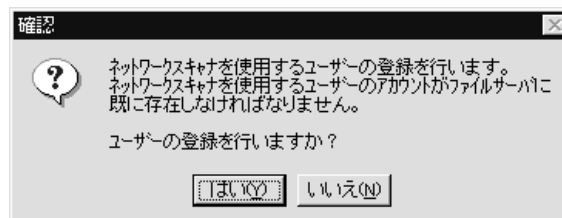


次の画面が表示され、ネットワークスキャナが再起動します。CS-6000Nが再起動するまで6分ほどかかります。その間 Management Console を操作しないでください。



6分ほどたつと次の画面が表示されますので、**はい** ボタンをクリックします。ネットワークスキャナの新規登録はこれで終了です。

次に、新規登録したスキャナを利用するユーザーの情報を設定します。5-18ページへ進んでください。





ネットワークスキャナを新規登録後、Windows ディレクトリ (WindowsNT4.0 は Winnt、WindowsNT3.51 は Winnt35、Windows95 は Windows など) に、ネットワークスキャナのスキナホームフォルダのリストが書かれているファイル、ConsoApp.ini が作成されます。

このファイルを、フロッピーなどにコピーして保管してください。

このファイルは、Management Console をインストールしたマシンが何らかの理由で使用できなくなった場合に、再度 Management Console をインストールして、すでに設定されているネットワークスキャナを変更するときに必要になります。



ネットワークスキャナのユーザー情報登録

新規登録したネットワークスキャナのユーザー情報を設定します。ユーザーは30人まで登録できます。

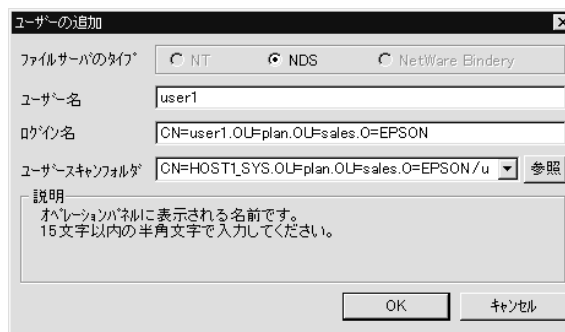
1 ネットワークスキャナのプロパティ起動

5-16ページの で **はい** ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。この画面で **ユーザーの追加** ボタンをクリックします。



2 ユーザーの追加

ネットワークスキャナのユーザーを追加します。



| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------|--|
| ユーザー名 | CS-6000N の操作パネルに表示されるユーザーの名前です。15文字以内の半角英数および半角カタカナで入力します。この名前は、ユーザーがサーバスキャンの操作を行う際に必要です。各ユーザーにこの名前を知らせてください。 |
| ログイン名 | <p>サーバスキャンを使用するユーザーの、ファイルサーバへのログイン名を入力します。</p> <p>ここでは、5-7 ページ「ファイルサーバへのユーザ登録」で、SYSCON または NWADMIN から登録したユーザ名と同じものを入力します。</p> <p>ファイルサーバが NetWare NDS モードの場合 書式) CN=ユーザー名 (.OU=部門名 2.OU=部門名 1) .O 組織名 例) CN=user1.OU=plan.OU=sales.O=EPSON</p> <p>ファイルサーバが NetWare Bindery の場合 書式) ログイン名 例) user1</p> |
| ユーザースキャンフォルダ | <p>ユーザースキャンフォルダのパスを入力します。他のユーザーのフォルダ名や、5-14 ページの[スキャナホームフォルダパス]と重複しないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・¥および/の間は MS-DOS の 8.3 形式で入力してください。 ・すでに登録済みのフォルダを使う場合は、プルダウンや 参照 ボタンから選択することもできます。 ・下記の[フォルダパス]の部分は、新規のフォルダを指定してください。 <p>ファイルサーバが NetWare NDS モードの場合 書式) CN=ファイルサーバ名_ボリューム名 (.OU=部門名 2.OU=部門名 1) .O=組織名/フォルダパス 例) CN=HOST1_SYS.OU=plan.OU=sales.O=EPSON/users¥user1</p> <p>ファイルサーバが NetWare Bindery の場合 書式) ファイルサーバ名/ボリューム名:フォルダパス 例) HOST1/SYS:users¥user1</p> |



ユーザースキャンフォルダについて

- ・ 5-14 ページ[ネットワークスキャナの設定]で登録したスキャナホームフォルダと同じファイルサーバ上に作成してください。
- ・ ネットワーク上にある他のユーザースキャンフォルダや、5-14 ページで設定した[スキャナホームフォルダパス]と重複しない名前を入力してください。
- ・ このフォルダは、クライアントがサーバスキャンしたデータを取り出す際に使用します。管理者は各ユーザーに、設定したユーザースキャンフォルダを知らせておいてください。
- ・ 複数のネットワークスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。



ユーザースキャンフォルダの設定について

- ・ **参照** ボタンをクリックすると、フォルダ参照画面が表示されます。この画面で、設定するファイルサーバ内のフォルダを選択して **OK** ボタンをクリックし、新規のフォルダパスを入力してください。



- ・ ユーザー 1 人につき 1 つのフォルダを指定してください。
- ・ ユーザースキャンフォルダをスキャナホームフォルダの下に作成しないでください。

3 設定の登録

設定が終了したら、**OK** ボタンをクリックします。

引き続きユーザーを追加する場合は、**ユーザーの追加** ボタンをクリックしてください。



4 Management Console の終了

ユーザー情報の登録が終了したら、**閉じる** ボタンをクリックします。



次の画面に戻るので、**終了** ボタンをクリックします。



以上で、サーバスキャンを行うための、ネットワークスキャナとユーザー情報の新規登録は終了です。

サーバスキャンの操作手順については、ユーザーズガイドをご覧ください。



Management Console を起動した状態では、サーバスキャンは行えません。設定が終了したら、Management Console を終了してください。

ネットワークスキャナ情報の変更

登録済みのネットワークスキャナ情報およびユーザー情報を変更する方法を説明します。

情報画面の表示

1 Management Console の起動

Management Console を起動して、[ネットワークスキャナ名]のプルダウンから、設定するネットワークスキャナ名を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



設定したネットワークスキャナがプルダウンに表示されていない場合は、**検索** ボタンをクリックして検索します。

2 ネットワークスキャナのプロパティ画面

各タブをクリックすると、選択したユーザー情報の変更や、ネットワークスキャナ情報の変更ができます。各タブの詳しい説明は、次ページ以降をご覧ください。




| タブ名 | 設定内容 |
|--------------|--|
| ユーザー情報 | ネットワークスキャナのユーザーを設定します。次ページをご覧ください。 |
| ネットワークスキャナ情報 | ネットワークスキャナの情報を変更します。5-26 ページをご覧ください。 |
| チェック | Management Console 起動時の画面で選択したネットワークスキャナの設定をチェックします。5-27 ページをご覧ください。 |

ユーザー情報の追加・変更・削除

[ユーザー情報]タブで各ボタンをクリックして、ネットワークスキャナを使用するユーザーの追加・変更・削除をします。



| 設定項目 | 設定内容 |
|---------|---|
| ユーザーの追加 | クリックすると、ユーザーの追加画面に入ります。5-18 ページをご覧ください。 |
| ユーザーの削除 | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除します。 なお、ユーザーをファイルサーバから完全に削除する場合は、SYSCON (NetWare3.xJ)、NWADMIN (NetWare4.xJ/5J) を使用してください。 |
| プロパティ | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、ユーザー情報の変更画面に入ります。詳しくは次ページをご覧ください。 |
| チェック | リストからユーザーを選択してこのボタンをクリックすると、ユーザーが使用可能なネットワークスキャナの設定をチェックします。チェックが正常に終了すると、次のようなメッセージボックスを表示します。  |
| 閉じる | この画面を閉じます。 |

[ユーザーのプロパティ]画面

前ページの画面で **プロパティ** をクリックすると、この画面が表示されます。ここでは、ユーザー情報を変更できます。

| 属性 | 値 |
|--------------|---|
| ユーザー名 | user1 |
| ログイン名 | CN=user1.OU=plan.OU=sales.O=EPSON |
| ユーザースキャンフォルダ | CN=HOST1.SYS.OU=plan.OU=sales.O=EPSON/u |

[属性]欄で設定する項目をクリックすると、[値]欄にその項目が表示されます。
[値]欄で任意の設定をして **変更** ボタンをクリックします。
各項目の設定方法については、[ユーザーの追加]画面をご覧ください。(5-18ページへ)

変更が終了したら、**保存** ボタンをクリックします。
ユーザー情報変更の確認画面が表示されます。**OK** ボタンをクリックすると、変更内容が保存されて[ユーザー情報]画面へ戻ります。

ネットワークスキャナ情報の変更

[ネットワークスキャナ情報]タブで、ネットワークスキャナ情報を変更します。

| 属性 | 値 |
|---------------|---|
| ネットワークスキャナ名 | CS-6000N |
| 設置場所 | Earth |
| IPアドレス | XXXXXXXXXX1234 |
| IPXアドレス | A38D2100:0000F8077EE3:1234 |
| プロダクトID | EPSON:Flatbed Scanner:ES-6000:1.0:1.0 |
| スキャナホームフォルダパス | CN=HOST1_SYS.OU=plan.OU=sales.O=EPSON/Sc... |
| ログイン名 | CN=CS6000N.OU=plan.OU=sales.O=EPSON |

[属性]欄で設定する項目をクリックすると、[値]欄にその項目が表示されます。

[値]欄で任意の設定をして [変更] ボタンをクリックします。

各項目の設定方法については、[ネットワークスキャナの設定]画面をご覧ください。(5-13ページへ)

変更が終了したら、[保存] ボタンをクリックします。確認画面が表示されたら、

[OK] ボタンをクリックすると、変更内容が保存されます。

処理を終了する場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。

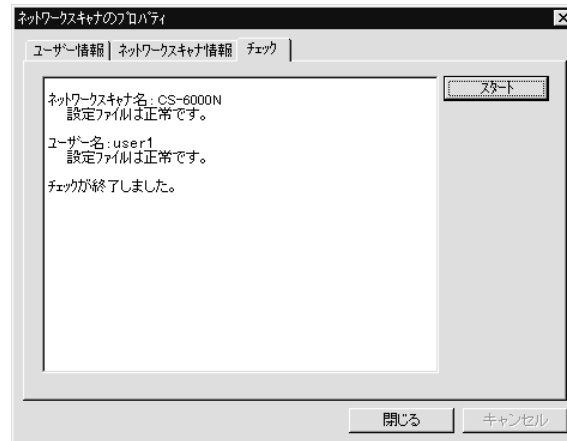
属性によっては、設定を変更して保存すると「CS-6000Nを再起動しています...」のメッセージが表示され、6分ほどたつと Management Console の起動時の画面が表示されます。Management Console の設定を終了する場合は、[終了] ボタンをクリックして終了します。

次の属性については、変更や削除はできません。

IP アドレス / IPX アドレス / プロダクト ID / スキャナホームフォルダパス /
ログイン名 / ホスト名 / NDS ツリー名

ネットワークスキャナの設定チェック

[チェック]タブで、ネットワークスキャナについて、スキャナ情報やユーザースキャンフォルダなどのチェックをします。



スタート ボタンをクリックすると、チェックを開始します。

チェックの結果が表示されます。処理を終了する場合は、**閉じる** ボタンをクリックします。

サーバスキャン設定の削除

登録済みのサーバスキャン設定を削除するときは、Management Console で次の操作を行います。



- ここにある操作を行うと、選択したスキャナの情報が、フォルダ単位ですべて削除されます。また、WebAdmin の[サーバスキャンの設定]が初期値（無効）に戻ります。再度登録したいときは、5-3 ページからの操作を行うこととなりますので、ご注意ください。
- Management Console で作成したフォルダが使用中でないことを確認してください。

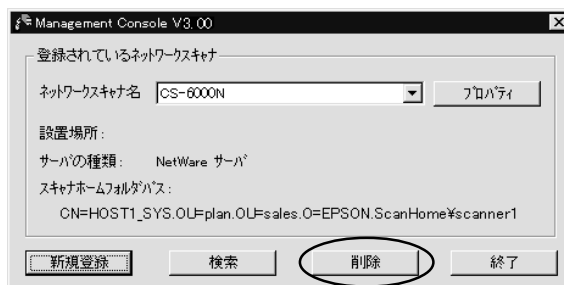
通常の方法

1 ネットワークスキャナの選択

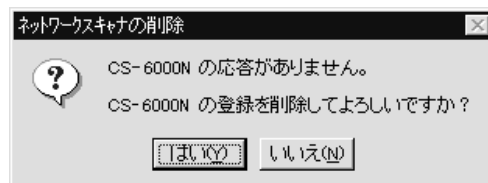
Management Console を起動します。削除するネットワークスキャナを選んで **削除** ボタンをクリックし、次の手順へ進んでください。



ネットワークスキャナの削除を実行すると、スキャナホームフォルダが削除されます。スキャナホームフォルダの下に別のフォルダやファイルがあると、それらも削除されてしまいますのでご注意ください。



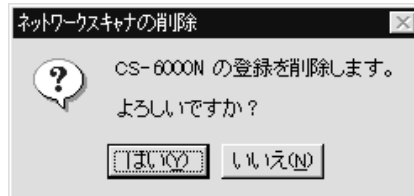
「ネットワークスキャナにアクセスできません」などのエラーメッセージが表示された場合は、**OK** ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されますので、**はい** ボタンをクリックします。



この後は、**終了** ボタンをクリックして Management Console を終了し、5-30 ページへ進んでください。

2 ネットワークスキャナの削除

選択したネットワークスキャナの登録を削除する確認画面が表示されるので、**はい** または **いいえ** ボタンをクリックします。**はい** をクリックすると設定が削除され、CS-6000N が再起動します。再起動するまで6分ほどかかります。



- ・ ここでサーバスキャン情報を削除しても、ユーザースキャンフォルダは残ります。ユーザースキャンフォルダを削除する場合はエクスプローラなどから行ってください。ただし、ユーザースキャンフォルダにはサーバスキャンしたデータが保存されていますのでご注意ください。また、SYSCON、NWADMIN で登録したユーザーも残ります。必要に応じて削除してください。
- ・ ファイルサーバの変更など、ネットワークの構成を変更する場合は、登録済みのサーバスキャン設定を Management Console で削除して、再度、新規登録を行ってください。

再起動すると、Management Console の起動時の画面に戻ります。**終了** ボタンをクリックして Management Console を終了します。

エラーメッセージが表示された場合の削除方法

Management Console で **削除** ボタンをクリックしたときに、エラーメッセージが表示された場合は、次の手順で設定を削除してください。

1 ファイルサーバに残っている設定の削除

次の設定情報がファイルサーバに残っていますので、データの内容を確認の上、削除してください。



下記の と は、ファイルサーバの変更などで、サーバスキャンの設定を完全に削除したい場合に削除します。
設定をやり直す場合は、削除する必要はありません。

スキャナホームフォルダ

5-14 ページで、Management Console から [スキャナホームフォルダパス] として指定したパス (フォルダ) です。エクスプローラなどから削除してください。

スキャナ用アカウント (ログイン名)

5-15 ページの [ログイン名] で入力した名称で、スキャナ用アカウントが登録されます。このスキャナ用アカウントを、SYSCON または NWADMIN から削除してください。

ユーザー名

NetWare NDS モードの場合は、5-8 ページで NWADMIN から登録したユーザーです。NetWare Bindery モードの場合は、5-7 ページで SYSCON から登録したユーザーです。それぞれのユーティリティから削除してください。

ユーザースキャンフォルダ

5-19 ページで、Management Console から [ユーザースキャンフォルダ] として指定したパス (フォルダ) です。エクスプローラなどから削除してください。

2 CS-6000N の設定確認

WebAdmin を起動して、**メインユニット** ボタンをクリックし、メインユニット設定の [機能設定] 画面でサーバスキャンの設定を確認します。

サーバスキャンの設定が [有効] になっている場合は、[無効] に設定し、**送信** ボタンをクリックします。

これでサーバスキャン設定の削除は終了です。再設定する場合は、5-3 ページからやり直してください。

付録

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 工場出荷時設定に戻す | 付 -2 ページ |
| EPSON ESPER Station ページについて | 付 -3 ページ |
| オフィス機器の登録 | 付 -4 ページ |
| プリンタの初期設定 | 付 -8 ページ |
| IP アドレスの変更 (WebAdmin から) | 付 -10 ページ |
| WebAdmin で使用可能な文字 | 付 -13 ページ |
| 困ったときは | 付 -14 ページ |
| 索引 | 付 -20 ページ |

付
録



工場出荷時設定に戻す

次のような場合は、CS-6000Nを初期化して工場出荷時の状態に戻し、すべての設定を最初からやり直してください。

- WebAdmin 起動時のユーザー名、パスワードを忘れてしまった場合

1

CS-6000N の起動

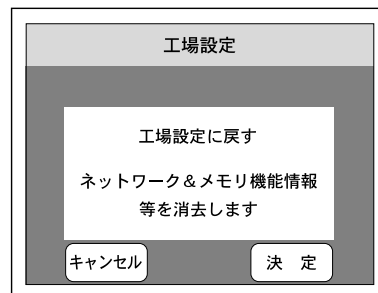
右の画面が表示されるまで、**スタート** と **ストップ** ボタンの両方を押しながら、カラーコピーシステムの電源をオンにします。画面が表示されたら、**戻す** ボタンを押して、[工場設定]画面を表示させます。



2

初期化

次の画面で **決定** ボタンを押します。CS-6000N が工場出荷時の状態に戻ります。**キャンセル** を押すと、消去を実行せずに手順1の画面に戻ります。



決定 ボタンを押した時点で CS-6000N が工場出荷時の設定に戻ります。

3

アドレス設定

手順1の画面に戻るので、**設定** ボタンを押して[ネットワーク設定]画面を表示させます。3-9ページを参照して各種アドレスを再設定し、**決定** ボタンをクリックします。

4

設定終了

手順1の画面に戻るので、**終了** ボタンを押して設定を終了します。CS-6000N が再起動します。

EPSON ESPER Station ページについて

EPSON ESPER Station ページとは、CS-6000N の Web ユーティリティである WebAdmin、ステータスマニタを統合するページです。

このページのオープニング画面で[アドミニストレータ]をクリックすると、WebAdmin を起動することができます。



動作環境や起動時の注意については、WebAdmin と同様です。

起動方法

Web ブラウザから、次の URL を半角で入力して起動します。(E と S は大文字)

書式) <http://CS-6000Nのホスト名またはIPアドレス/EsperStation.html>

または

書式) <http://CS-6000Nのホスト名またはIPアドレス/>

付
録



オフィス機器の登録

WebAdminの[オフィス機器の登録]には、ネットワーク上のCS-6000Nに関する情報を最大8台まで設定し、表示することができます。

ネットワーク上に複数のCS-6000Nを接続している場合に、各CS-6000Nの情報を確認できるため、ネットワーク環境の管理に役立てることができます。



- WebAdminの[オフィス機器の登録]に登録できる機器は、CS-6000Nのみです。
- WebAdminの動作環境やその他ポイントについては、1-4ページをご覧ください。
- 起動時間を短縮するために、1-6ページの説明にある設定を行っておいってください。

1 登録するカラーコピーシステムの起動

[オフィス機器の登録]に登録するカラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000Nのネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdminの起動

Webブラウザを起動して、次のURLを半角で入力します。

書式) http://CS-6000Nのホスト名またはIPアドレス/WebAdmin.html

例) http://192.168.100.201/WebAdmin.html (**WとAは大文字**)

または キーを押して起動します。

ユーザー名とパスワードを入力します。

次の画面でユーザー名(初期値はadministrator)とパスワード(初期値はadministrator)を入力すると、WebAdminが起動します。

3 設定画面の選択

WebAdminが起動したら、**オフィス機器の登録** ボタンをクリックして起動します。



4 CS-6000N の情報設定

次の画面で、CS-6000N の IP アドレスなどの情報を登録します。次ページをご覧ください。

各項目を入力したら、**更新** ボタンをクリックして設定を保存します。



付録

登録機器リスト

登録済みの CS-6000N の名称が表示されます。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------------------------------|--|
| <input type="button" value="新規作成"/> | 新規に CS-6000N を登録する場合はこのボタンをクリックし、編集フィールドで各種設定を行います。最大 8 台まで登録できます。 |
| <input type="button" value="削除"/> | 登録機器リストから機器を削除するには、削除する CS-6000N をリストから選択してこのボタンをクリックします。 |

すでに登録された機器の情報を変更する場合は、変更する CS-6000N をリスト内でクリックすると、その CS-6000N の情報が編集フィールドに表示されますので、編集フィールドで各種設定を行います。

編集フィールド

登録機器リストで をクリックした場合は、このフィールドで情報を設定します。

また、登録機器リストに表示されている CS-6000N の名称をクリックすると、その CS-6000N の情報が表示されますので、必要に応じて情報を変更できます。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-----------------------------------|---|
| 名称 | CS-6000N の名称を半角英数 15 文字以内で入力します。この項目は必ず入力してください。 登録機器リストにある他の機器名称や、メインユニットの[基本]画面の名称と重複しないようにしてください。 |
| 所属 | CS-6000N を所有するグループ名などを半角英数 40 文字以内で設定します。この項目設定は省略できます。 |
| IP アドレス | 登録する CS-6000N の IP アドレスを設定します。 確認の上、正しいアドレスを設定してください。 |
| 管理者名 | CS-6000N の管理者名を半角英数 20 文字以内で設定します。この項目設定は省略できます。 |
| E メール | 管理者の E メールアドレスを、半角英数 50 文字以内で設定します。この設定は省略できます。 |
| 電話 | CS-6000N の管理者の電話番号を、半角 30 文字以内で設定します。この項目設定は省略できます。 |
| <input type="button" value="更新"/> | クリックして設定を更新します。 |

5 設定の確定

閉じる ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdminのオープニング画面にある **送信** ボタンをクリックしてください。情報がCS-6000Nに送信され、CS-6000Nが再起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約2分間表示されます。その後「通知：WebAdminを再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- ・ **送信** ボタンをクリック後、CS-6000Nへの情報送信が終了するまで、Webブラウザを終了させないでください。
- ・ CS-6000Nの再起動中は、CS-6000Nにアクセスできません。



プリンタの初期設定

CS-6000N に接続しているプリンタ (LP-8200C) の初期設定値は、WebAdmin から簡単に変更できます。

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdmin の起動

Web ブラウザを起動して、次の URL を半角で入力します。

書式) http://CS-6000N のホスト名または IP アドレス /WebAdmin.html

例) http://192.168.100.201/WebAdmin.html (W と A は大文字)

Enter キーまたは Return キーを押して起動します。

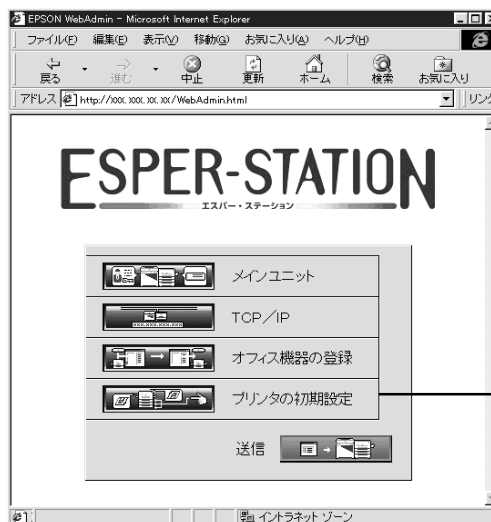
ユーザー名とパスワードを入力します。

次の画面でユーザー名 (初期値は administrator) とパスワード (初期値は administrator) を入力すると、WebAdmin が起動します。



3 設定画面の選択

WebAdmin が起動したら、 ボタンをクリックして起動します。



クリックします

4 プリンタの初期設定

CS-6000N に接続された LP-8200C の起動時の初期設定をします。



| 設定項目 | 設定内容 | |
|---------------|---------------------|---|
| 排紙装置の設定 | フェイスアップ/ フェイスダウン | 排紙装置の初期値を設定します。 |
| 印刷マージンの 設定 | 右とじマージン | 印刷した用紙をとじるために、用紙の一边のマージンを多く設定したい場合に、これらの項目で設定します。 各マージンは、0～20mm の範囲で、1mm 単位で設定します。(初期値:10mm) |
| | 左とじマージン | |
| | 上とじマージン | |
| OK | 設定内容を保存します。 | |
| キャンセル | 設定内容を取消します。 | |

5 設定の確定

ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdmin のオープニング画面にある ボタンをクリックしてください。情報が CS-6000N に送信され、CS-6000N が再起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約 2 分間表示されます。その後、「通知：WebAdmin を再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- ボタンをクリック後、CS-6000N への情報送信が終了するまで、Web ブラウザを終了させないでください。
- CS-6000N の起動中は、CS-6000N にアクセスできません。

IP アドレスの変更 (WebAdmin から)

このページは、CS-6000N の IP アドレスを変更する必要があるときだけご覧ください。
一度操作パネルで設定した CS-6000N の IP アドレスを変更する場合、操作パネルから
もできますが、WebAdmin から、より簡単に行うことができます。



- CS-6000N の IP アドレスを変更したら、変更した CS-6000N の IP アドレスを、クライアントおよび他の CS-6000N 管理者に知らせてください。
クライアントは、ネットワークスキャンやカラーコピーシステムの状態確認をするときに使います。
- WebAdmin の動作環境やその他ポイントについては、1-4 ページをご覧ください。
- 起動時間を短縮するために、1-6 ページの説明にある設定を行っておいてください。

1 カラーコピーシステムの起動

カラーコピーシステムの電源をオンにします。CS-6000N のネットワーク機能が有効になるまで、コピー可能状態になってからさらに数分かかります。

2 WebAdmin の起動

Web ブラウザを起動して、次の URL を半角で入力します。

書式) http://CS-6000N のホスト名または IP アドレス /WebAdmin.html

例) http://192.168.100.201/WebAdmin.html (W と A は大文字)

または キーを押して起動します。

ユーザー名とパスワードを入力します。

次の画面でユーザー名(初期値は administrator)とパスワード(初期値は administrator)を入力すると、WebAdmin が起動します。

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

リソース: WebAdmin

ユーザー名(U): administrator

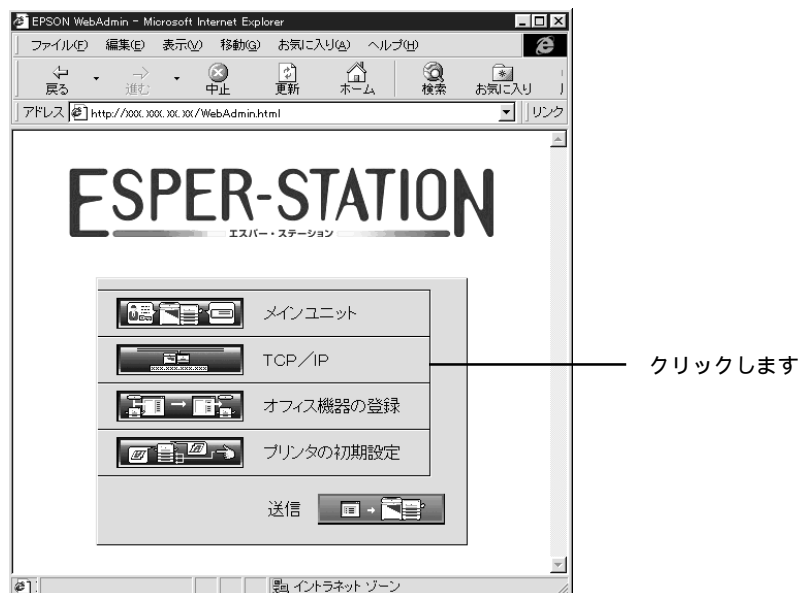
パスワード(P): *****

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

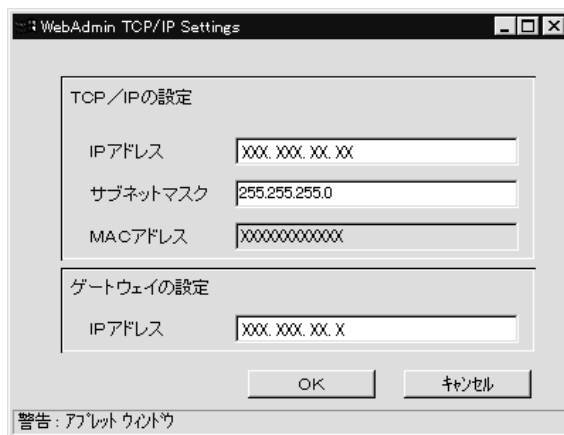
3 設定画面の選択

WebAdminが起動したら、**TCP/IP** ボタンをクリックして起動します。



4 TCP/IP の設定

CS-6000N のTCP/IP 設定を変更できます。設定については次ページをご覧ください。



付録



| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------------------------------|---|
| TCP/IP の設定 | |
| IP アドレス | CS-6000N の IP アドレスを設定します。他のネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しない値を入力します。 0.0.0.0 および 255.255.255.255 は入力できません。 |
| サブネットマスク | サブネットマスクを設定します。 サブネットマスクは下記のとおり、使用しているネットワークのクラスによって設定する値が異なります。また、すべてのクラスについて、255.255.255.255 は設定できません。 XXXの部分に、0~255の範囲で値を設定します。 クラス A:255.XXX.XXX.XXX クラス B:255.255.XXX.XXX クラス C:255.255.255.XXX |
| MAC アドレス | CS-6000N の MAC アドレスを表示します。 |
| ゲートウェイの設定 | |
| IP アドレス | ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータのアドレスを必ず入力します。 ゲートウェイがない場合は0.0.0.0と入力します。 |
| <input type="button" value="OK"/> | 設定を保存します。 |
| <input type="button" value="キャンセル"/> | 設定を取り消します。 |

5 設定の確定

ボタンをクリックして設定を保存したら、WebAdmin のオープニング画面にある ボタンをクリックしてください。情報が CS-6000N に送信され、CS-6000N が起動します。

情報の更新中、「通知：システムを再起動しています。。。」というメッセージが約 2 分間表示されます。その後「通知：WebAdmin を再ロードします。。。」と表示され、ページが更新されます。



- ボタンをクリック後、CS-6000N への情報送信が終了するまで、Web ブラウザを終了させないでください。
- CS-6000N の再起動中は、CS-6000N にアクセスできません。

WebAdmin で使用可能な文字

WebAdmin で有効な文字は、0x20 ~ 0x7E までの ASCII 文字です。ただし、次の制限があります。

- ・ <、>、” の3文字は入力できません。
- ・ スペースのみの名称は設定できません。
- ・ 文字列の先頭、末尾のスペースは無視されます。

| Dec | Hex | Char | Dec | Hex | Char | Dec | Hex | Char |
|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|
| 32 | 20 | SP | 64 | 40 | @ | 96 | 60 | ' |
| 33 | 21 | ! | 65 | 41 | A | 97 | 61 | a |
| 34 | 22 | !" | 66 | 42 | B | 98 | 62 | b |
| 35 | 23 | # | 67 | 43 | C | 99 | 63 | c |
| 36 | 24 | \$ | 68 | 44 | D | 100 | 64 | d |
| 37 | 25 | % | 69 | 45 | E | 101 | 65 | e |
| 38 | 26 | & | 70 | 46 | F | 102 | 66 | f |
| 39 | 27 | ' | 71 | 47 | G | 103 | 67 | g |
| 40 | 28 | (| 72 | 48 | H | 104 | 68 | h |
| 41 | 29 |) | 73 | 49 | I | 105 | 69 | i |
| 42 | 2A | * | 74 | 4A | J | 106 | 6A | j |
| 43 | 2B | + | 75 | 4B | K | 107 | 6B | k |
| 44 | 2C | , | 76 | 4C | L | 108 | 6C | l |
| 45 | 2D | - | 77 | 4D | M | 109 | 6D | m |
| 46 | 2E | . | 78 | 4E | N | 110 | 6E | n |
| 47 | 2F | / | 79 | 4F | O | 111 | 6F | o |
| 48 | 30 | 0 | 80 | 50 | P | 112 | 70 | p |
| 49 | 31 | 1 | 81 | 51 | Q | 113 | 71 | q |
| 50 | 32 | 2 | 82 | 52 | R | 114 | 72 | r |
| 51 | 33 | 3 | 83 | 53 | S | 115 | 73 | s |
| 52 | 34 | 4 | 84 | 54 | T | 116 | 74 | t |
| 53 | 35 | 5 | 85 | 55 | U | 117 | 75 | u |
| 54 | 36 | 6 | 86 | 56 | V | 118 | 76 | v |
| 55 | 37 | 7 | 87 | 57 | W | 119 | 77 | w |
| 56 | 38 | 8 | 88 | 58 | X | 120 | 78 | x |
| 57 | 39 | 9 | 89 | 59 | Y | 121 | 79 | y |
| 58 | 3A | : | 90 | 5A | Z | 122 | 7A | z |
| 59 | 3B | ; | 91 | 5B | [| 123 | 7B | { |
| 60 | 3C | < | 92 | 5C | ¥ | 124 | 7C | |
| 61 | 3D | = | 93 | 5D |] | 125 | 7D | } |
| 62 | 3E | > | 94 | 5E | ^ | 126 | 7E | ~ |
| 63 | 3F | ? | 95 | 5F | _ | | | |

困ったときは

ここでは、トラブルが発生したときの処置について、各章ごとに説明します。

準備作業

設定する IP アドレス、サブネットマスクがわからない

処置)

IP アドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う際には、JPNIC(<http://www.nic.ad.jp/jp/index.html>)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。

IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています）。

プライベートアドレス：

10.0.0.1 ~ 10.255.255.254

172.16.0.1 ~ 172.31.255.254

192.168.0.1 ~ 192.168.255.254

サブネットマスクについても、システム管理者の方へご確認ください。

なお、サブネットマスクの値は、下記のとおり使用しているネットワークのクラスによって異なります。また、すべてのクラスについて、255.255.255.255 は設定できません。

クラス A : 255.XXX.XXX.XXX

クラス B : 255.255.XXX.XXX

クラス C : 255.255.255.XXX

(XXX の部分に、システム管理者の方に確認した値を入力します。入力する値は 0 ~ 255 の範囲です。)

WebAdmin を起動する際の CS-6000N のパスワードを忘れてしまった

処置)

ユーザー名とパスワードは忘れないようにしてください。

忘れた場合は CS-6000N システムを工場出荷時の設定に戻して、再度、本マニュアルにある操作をはじめから行うこととなります。ご注意ください。

工場出荷時の設定に戻す方法は、付録「工場出荷時設定に戻す」(付-2 ページ)をご覧ください。

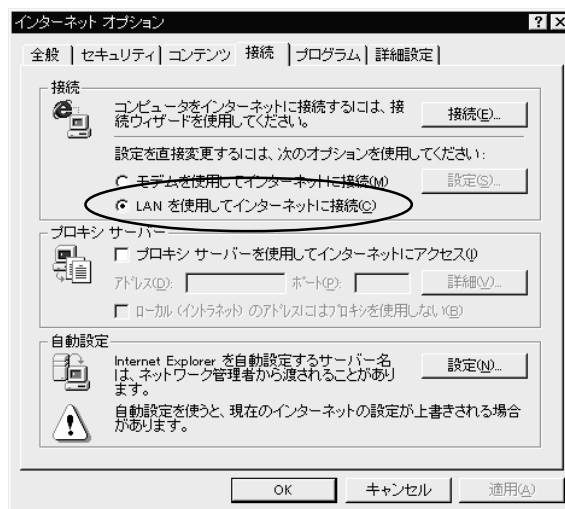
ネットワークスキャン

Internet Explorer の使用中にネットワークスキャン (EPSON TWAIN Pro Network) を起動すると、「スキャナが見つかりません」と表示されて接続できない

処置)

Windows95/98 のダイヤルアップ接続で Internet Explorer を使用し、[モデムを利用してインターネットに接続]をチェックしていると、ネットワークスキャンは使用できません。

Internet Explorer4.01 の場合、[表示]メニューにある[インターネットオプション]-[接続]タブで、[LANを使用してインターネットに接続]をチェックしてください。



ただし、この場合、インターネットアイコンをダブルクリックしてもインターネットに接続しません。インターネットに接続する場合は、事前にダイヤルアップ接続を起動しておく必要があります。

Internet Explorer5.0 の場合は、[ツール]メニューにある[インターネットオプション]-[接続]タブで、[ダイヤルしない]をチェックして、[LANの設定]ボタンをクリックし、必要な設定を行ってください。

サーバスキャン

新規にスキャナを登録した後、ユーザーを登録する際にエラーメッセージが表示され、[ネットワークスキャナのプロパティ]画面が表示されない

WindowsNT Server の場合は下記をご覧ください。

NetWare の場合は次ページをご覧ください。

1 WindowsNT サーバの場合

処置)

はじめに、WindowsNT Server と CS-6000N のサブネットマスクの設定値が同じであることを確認します。同じでない場合は、同じ値に設定してください。

また、バックアップドメインコントローラを使用している場合は、サーバーマネージャを起動してサーバ名を選択し、メニューの[コンピュータ]-[プライマリドメインコントローラと同期]を実行してください。

続いて、次の手順で CS-6000N を再起動してください。

WindowsNT Server の[スタート]-[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[サーバーマネージャ]を起動します。

[サーバーマネージャ]画面からサーバを選択します。

[XXXのプロパティ]の **共有** ボタンをクリックします。

共有フォルダのリストからスキャナ共有フォルダを選択すると、下のリストに接続中のユーザーが表示されます。その中からスキャナのユーザー ID を選択し、**切断** ボタンをクリックします。

[サーバーマネージャ]を終了します。

Web ブラウザを起動して次の URL を入力します。

http://CS-6000N の IP アドレス /WebAdmin.html

パスワードの入力画面で、ユーザー名(初期値は administrator) パスワード(初期値は administrator)を入力します。

WebAdmin が起動されたら **送信** ボタンをクリックします。

CS-6000N が再起動するまで5分ほどかかります。この間 Web ブラウザを終了させないでください。

5分以上たったら WebAdmin を終了し、再度 Management Console でユーザーの登録を行ってください。

2 NetWare の場合

処置)

次の手順で CS-6000N を再起動してください。

Web ブラウザを起動して次の URL を入力します。

http://CS-6000N の IP アドレス /WebAdmin.html

パスワードの入力画面で、ユーザー名 (初期値は administrator)、パスワード (初期値は administrator) を入力します。

WebAdmin が起動されたら **送信** ボタンをクリックします。

CS-6000N が再起動するのに 5 分ほどかかります。この間 WebAdmin を終了させないでください。

5 分以上たったら WebAdmin を終了し、再度 Management Console でユーザーの登録を行ってください。

1、2 を行った後、[Management Console]画面で **プロパティ** ボタンをクリックしたが、エラーメッセージが表示されて[ネットワークスキャナの プロパティ]画面が表示されない

処置)

登録した設定を削除して、最初から設定し直す必要があります。削除については、4-27/5-28 ページをご覧ください。

付
録



サーバスキャンの設定を登録、変更するとき、次のようなメッセージが表示される

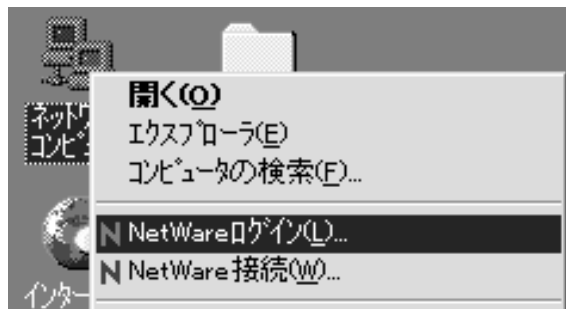
処置)

NetWare ファイルサーバに管理者の権限でログインしていない場合に、次のようなメッセージが表示されます。

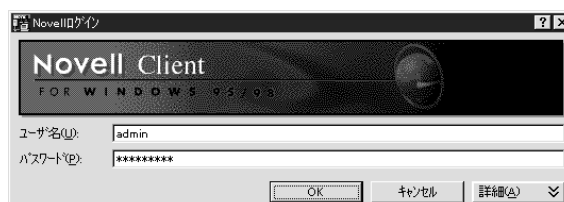


この場合、次の手順でファイルサーバにログインしてください。

[ネットワークコンピュータ]を右クリックして、NetWare ログインを選択します。



次の画面が表示されたら、管理者権限でログインします。



ログイン後は Management Console に戻って、設定および設定の保存をしてください。

その他

WebAdmin が応答しなくなった

次のような操作を行った場合、リソース不足のためにWebAdmin が応答しなくなることがあります。ご注意ください。

- 他のアプリケーションを複数起動した状態でWebAdmin を起動した場合
- WebAdmin の設定の更新や、画面の切り替えを繰り返した場合
- Macintosh でのメモリ割り当てが少ない場合

WebAdmin、EPSON Color Station の起動時に、「Proxy denies fulfilling the request」というエラー (Internet Explorer のエラー) が表示される
処置)

プロキシ・サーバを経由してCS-6000N にアクセスしようとしたためにこのエラーになります。CS-6000N ソフトウェア CD-ROM の Readme ファイル「はじめにお読みください」を参照し、CS-6000N の IP アドレスに対してプロキシを使用しないように設定してください。

索引

| | | |
|--------------------------|--|--------------------------------|
| 記号 | NWADMIN | 5-8 |
| 100BASE-TX | 3-2, 3-9 | |
| 10BASE-T | 3-2, 3-9 | |
| A | | |
| AppleTalk | 3-6 | |
| C | | |
| ConsoApp.ini | 4-16, 5-17 | |
| D | | |
| DNS | 4-12 | |
| DNS サーバ | 1-6, 3-11 | |
| E | | |
| Ethernet | 3-9 | |
| Eメール | 3-14, 付-6 | |
| H | | |
| hosts ファイル | 1-6 | |
| HUB | 3-2, 3-9 | |
| I | | |
| IntranetWare-J | 5-8 | |
| IP アドレス .. | 3-9, 付-6, 付-10, 付-12, 付-14 | |
| M | | |
| Macintosh | 3-6 | |
| MAC アドレス | 付-12 | |
| Management Console | 4-10, 4-11, 4-27, 5-10, 5-11, 5-12, 5-28 | |
| N | | |
| NDS ツリー名 | 5-15 | |
| NetWare | 5-10 | |
| NetWare3.xJ | 5-7 | |
| NetWare4.1xJ | 5-8 | |
| NetWare5J | 5-8 | |
| NetWare ログイン | 付-18 | |
| Novell Client | 5-6 | |
| | Open Transport | 3-6 |
| | S | |
| | SAP 名 | 4-14, 5-15 |
| | SYSCON | 5-7 |
| | T | |
| | TCP/IP | 3-3, 付-11 |
| | W | |
| | WebAdmin .. | 3-11, 4-3, 5-3, 付-4, 付-8, 付-10 |
| | WebAdmin 起動時間 | 1-6 |
| | WindowsNT3.51 | 3-5 |
| | WindowsNT4.0 | 3-4 |
| | Windows95/98 | 3-3, 5-10 |
| | WindowsNT | 4-10, 5-10 |
| | WINS サービス | 4-12 |
| | イ | |
| | 印刷マージンの設定 | 付-9 |
| | インストール | 4-10, 5-10 |
| | オ | |
| | オフィス機器の登録 | 付-5 |
| | カ | |
| | 管理者 | 3-14 |
| | 管理者名 | 付-6 |
| | キ | |
| | 機能設定 | 3-15, 4-4, 5-4 |
| | 基本 | 3-13 |
| | ケ | |
| | ゲートウェイ | 3-9 |

サ

- サーバスキャンの設定 4-5, 5-5
- サービスパック 4-2
- サブネットマスク 3-9, 付-12

シ

- 氏名 3-14
- 所属 3-13, 付-6

ス

- スキャナホームフォルダ 4-6
- スキャナホームフォルダパス 4-13, 5-14

セ

- 設置場所 4-13, 5-13

ソ

- 操作パネル 3-8

チ

- チェック 4-23, 4-26, 5-24, 5-27

テ

- 電話 3-14, 付-6

ト

- 動作環境 4-10, 5-10
- 登録機器リスト 付-6
- ドメインユーザーマネージャ 4-8

ネ

- ネットワークスキャナの削除 4-28, 5-29
- ネットワークスキャナの設定 4-13, 5-13
- ネットワークスキャナ情報 4-25, 5-26
- ネットワークスキャナ名 4-13, 5-13

ハ

- 排紙装置の設定 付-9
- パスワード 3-14, 4-14, 5-15, 付-14

フ

- ファイルサーバのタイプ 4-13, 5-13
- プリンタの初期設定 付-8
- プロダクト ID 4-13, 5-13
- プロパティ 4-22, 5-23

ヘ

- 編集フィールド 付-6

ホ

- ホスト名 3-11, 4-14, 5-15

メ

- 名称 3-13, 付-6
- メインユニット 3-12, 4-4, 5-4
- メモリー 3-13

モ

- モデル名 3-13

ユ

- ユーザ 5-7, 5-8
- ユーザースキャンフォルダ 4-6, 4-18, 5-19
- ユーザーの削除 4-23, 5-24
- ユーザーのプロパティ 4-24, 5-25
- ユーザーの追加 4-23, 5-18, 5-24
- ユーザー情報 4-23, 5-24
- ユーザー登録 4-9
- ユーザー名 3-14, 4-18, 5-19

ロ

- ログイン 3-14
- ログイン名 4-14, 4-18, 5-15, 5-19

